

令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 兵庫県 播磨町

自治体名：兵庫県播磨町

担当課名：播磨町教育委員会事務局 地域学校教育課

電話番号：079-435-0545

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	9.13 km <sup>2</sup>
人口	34,687人
公立中学校数	2校
公立中学校生徒数	1,022人
部活動数	25部活動
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	部活動地域移行推進連絡協議会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定している

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

### 《現状》

播磨町の運動部の種目は、野球、サッカー、バレーボール部、バスケット、ソフトテニス、卓球、ソフトボールで20の部活動で活動している。比較的種目は多いものの、小学校時代に経験した種目が中学校部活動になく、それらの生徒の受け皿がなかった。

そこで、新たに7つの地域クラブとして、剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツを創設し活動するとともに、19の部活動において、兼職兼業許可を得て50名(教員45名、公務員3名)が地域指導者として従事している。

この結果、学校部活動622人、地域クラブ76人、地域指導者123名がスポーツ活動に参加している状況である。

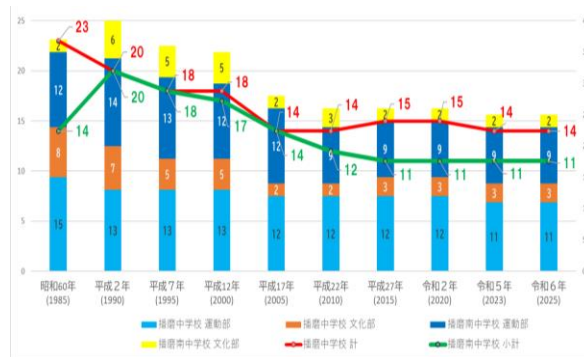
主な取組として、次を実施した。

- ・多様なスポーツ体験の提供
  - ・ジュニアからシニアまでの多世代での取組
  - ・不登校や障害のある子供達の地域の居場所づくり
  - ・安全確保の体制整備
  - ・大学との連携促進
  - ・生徒の発表の場の創出
  - ・保護者等への広報啓発の促進、他
- これらの取組の結果、クラブ員も増加し、不登校傾向にある生徒や特別支援学級に在籍している生徒の受け皿にもなったり、複数種目に参加が増えたりしている。

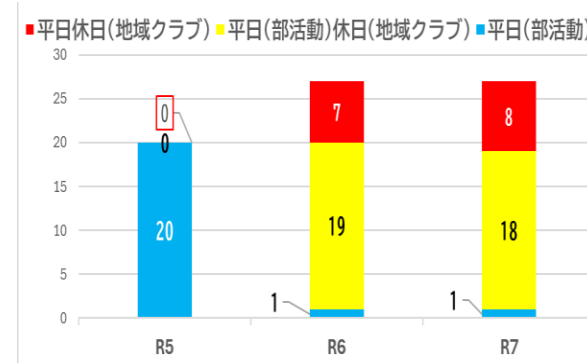
### 《今後の課題》

- ・運営母体の再整備による機能充実
- ・系統的指導体制の構築
- ・指導者の質の向上及び量の確保
- ・連絡ツール及び指導者管理アプリの開発

### 中学校部活動推移

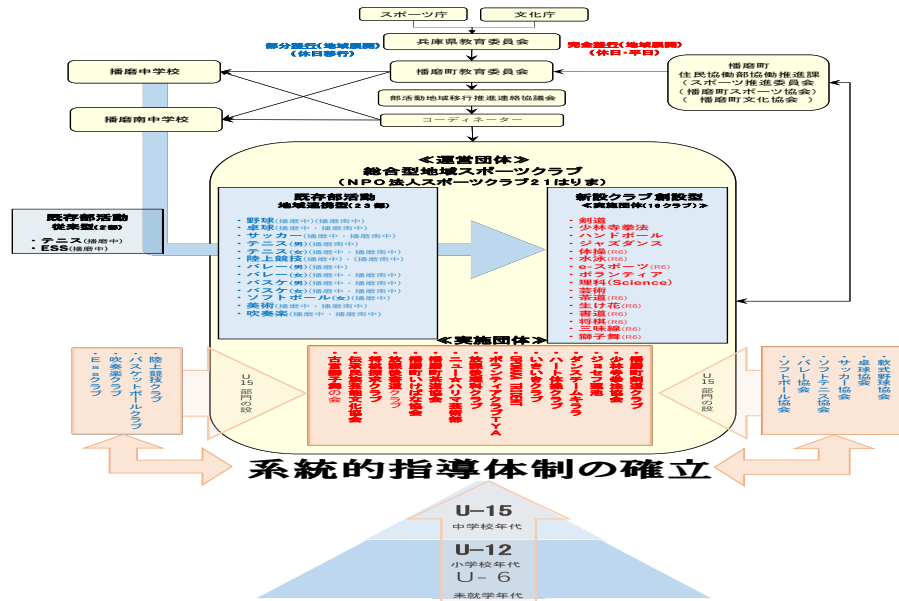


### 運動部・地域スポーツクラブ数推移



## 運営体制・役割

### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



### ●行政組織内での役割分担

#### ◎教育委員会

- ・教育委員会にコーディネーターを1名(スポーツ担当)配置し、運営団体・実施主体と学校や関係団体との円滑な運用に向け、連絡調整を行う。
- ・運営・実施主体である「NPO法人スポーツクラブ21はりま」事務職員の増員や内部の機構改革を通じた組織再編による機能の充実化を図る。

#### ◎首長部局

- ・町の重要施策としての位置づけ、部局横断的な取組の推進・町幹部による商工会や企業連絡協議会等との連携促進
- ・運営団体として位置づけている総合型スポーツクラブ「NPO法人スポーツクラブ21はりま」の再整備による機能充実
- ・広報紙「3×3」による住民への啓発

## 年間の事業スケジュール

- 4月～3月 年間を通し、学校・関係団体との連絡調整(マッチング作業等)
- 6月 ◇第1回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
  - ・播磨町における部活動の現状と課題について
  - ・今後の方向性について
  - ◆第1回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
- 7月 ■第1回・第2回スポーツ指導者研修会の開催
- 8月 ◇第2回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
  - ・協議① 指導者の量の確保と質の向上について
  - ・協議② 関係団体・分野との連携強化について
  - ◆第2回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
  - 第3回指導者講習会の開催
- 10月◇第3回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
  - ・協議③ 保護者の負担軽減について
  - ・協議④ アンケート調査内容の検討
- 10月 ◆第3回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
- 12月 ◆第4回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
- 1月 ◇第4回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
  - ・協議⑤ 活動場所の確保について
  - ・協議⑥ 大会への参加・運営の在り方について
  - アンケート実施(集計・分析)
  - ◆第5回スポーツアドバイザー招聘事業の実施
- 2月 ◇第5回部活動地域移行推進連絡協議会の開催
  - ・協議⑥ 成果と課題の抽出
  - ・協議⑦ 課題対応検討
  - 第5回指導者講習会の開催

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	2校	実施した地域クラブ総数	7クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		19 クラブ（19 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		7 クラブ
全体の指導者数	99人	全体の運営スタッフ数	5人

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
剣道クラブ	総合型スポーツクラブ	剣道	週5回	16:00 ～ 18:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨中体育館	3人	0人	1,000円/月	中体連：地域クラブ
ハンドボールクラブ	総合型スポーツクラブ	ジョセフ播磨 (R7より変更)	週5回	16:00 ～ 18:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨小体育館	3人	0人	2,000円/月	中体連：地域クラブ
ダンスクラブ	総合型スポーツクラブ	ダンス	週1回	19:00 ～ 21:00	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	中央公民館	2人	0人	2,800円/月	
体操クラブ	総合型スポーツクラブ	体操（新）	週2回	平日18時 ～20時 休日 13時～ 15時	1年 2年 3年	R6.4月 ～ R7.3月	播磨西小体育館	2人	0人	2,500円/月	中体連：地域クラブ

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
水泳クラブ	総合型スポーツクラブ	水泳(新)	週1回	19:00 ~ 20:00	1年 2年 3年	R6.4月 ~ R7.3月	播磨町健康いきいきセンター	1人	0人	1,000円/月	参加なし
少林寺拳法クラブ	総合型スポーツクラブ	少林寺拳法	週1回	13:00 ~ 15:00	1年 2年 3年	R6.4月 ~ R7.3月	播磨南中武道場	1人	0人	2,000円/月	その他:地域クラブ
e-スポーツクラブ	総合型スポーツクラブ	E-スポーツ(新)	週1回	17:00 ~ 19:00	1年 2年 3年	R6.4月 ~ R7.3月	E-スポーツ place 集会所	3人	0人	2,000円/月	参加なし
播磨中 野球部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	野球(新)	週1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中グラウンド	2人	0人	3,000円/年	中体連:部活動 その他:部活動
播磨南中 野球部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	野球(新)	週1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨南中グラウンド	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連:部活動 その他:部活動

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
播磨中 女子バレーボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バレーボール(新)	週 1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中体育館	3人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中 女子バレーボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バレーボール(新)	週 1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 男子バレーボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バレーボール(新)	週 1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中体育館	5人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 男子バスケットボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週 1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中体育館	3人	0人	2,000円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中 女子バスケットボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週 1回	9:00 ~ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ~ R7.4月	播磨中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
播磨南中男子バスケットボール部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨南中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中女子バスケットボール部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨南中体育館	4人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中男子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨中テニスコート	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中女子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨南中テニスコート	4人	0人	500円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中男子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨南中テニスコート	3人	0人	0円/年	中体連：部活動 その他：部活動

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
播磨南中男子バスケットボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨南中体育館	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中女子バスケットボール部 (休日移行)	総合型スポーツクラブ	バスケットボール(新)	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨南中体育館	4人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中男子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨中テニスコート	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中女子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨南中テニスコート	4人	0人	500円/年	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中男子ソフトテニス部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	ソフトテニス	週 1回	9:00 ～ 12:00	1年 2年 3年	R6.6月 ～ R7.4月	播磨南中テニスコート	3人	0人	0円/年	中体連：部活動 その他：部活動

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者(学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数(他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
播磨中卓球部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	卓球	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨中卓球場	3人	0人	300円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨南中卓球部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	卓球	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨南中卓球場	2人	0人	0円/年 +適宜徴収	中体連：部活動 その他：部活動
播磨中サッカー部(休日移行)	総合型スポーツクラブ	サッカー	週 1回	9:00～12:00	1年 2年 3年	R6.6月～ R7.4月	播磨中グラウンド	4人	0人	1,200円/年	中体連：部活動 その他：部活動

#### ③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 第13回SC21はりま杯卓球大会 (R6.5.14開催：参加者約72名、うち中学生24名)
- 第8回スポはりカーニバル (R6.5.14開催：参加者約85名、うち中学生2名)
- スポーツメンタルトレーニングセミナー (R6.8.1開催：中学生参加者32名)
- 播磨町地域クラブ体験会 (R6.8.8開催：参加者約100名)
- うみえーるあおぞらスプラッシュ (R6.8.20開催：参加者約2,000名、うち中学生25名)
- 第1回SC21はりま杯モルック大会 (R6.5.14開催：参加者約23名、うち中学生4名)
- うみえーるあおぞらハロウィン (R6.10.29開催：参加者約1,500名、うち中学生15名)
- トップアスリート招聘事業 朝原宜治氏陸上教室(R6.12.25実施：中学生参加者：32名)
- 中学校入学説明会において、生徒・保護者に対して部活動の地域移行(地域移行)の概要説明及び募集リーフレット配布 (R7.2.14開催)



## 主な取組例

### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

#### ○統括責任者(理事長：1名)

《役割分担》

- ・受託事業における管理責任者
- ・運営団体としての機能強化(運営母体の在り方検討)
- ・9年間を見据えた系統的指導体制の確立

#### ○主任指導者(事務局長兼クラブマネジャー：1名)

《役割分担》

- ・総務(事務処理)責任者
- ・施設管理事務を含めた総務全般の事務
- ・地域指導者との連絡調整
- ・行政(教育委員会・住民協働部協働推進課)との連絡調整等

#### ○運営補助者(副事務局長：1名)

《役割分担》

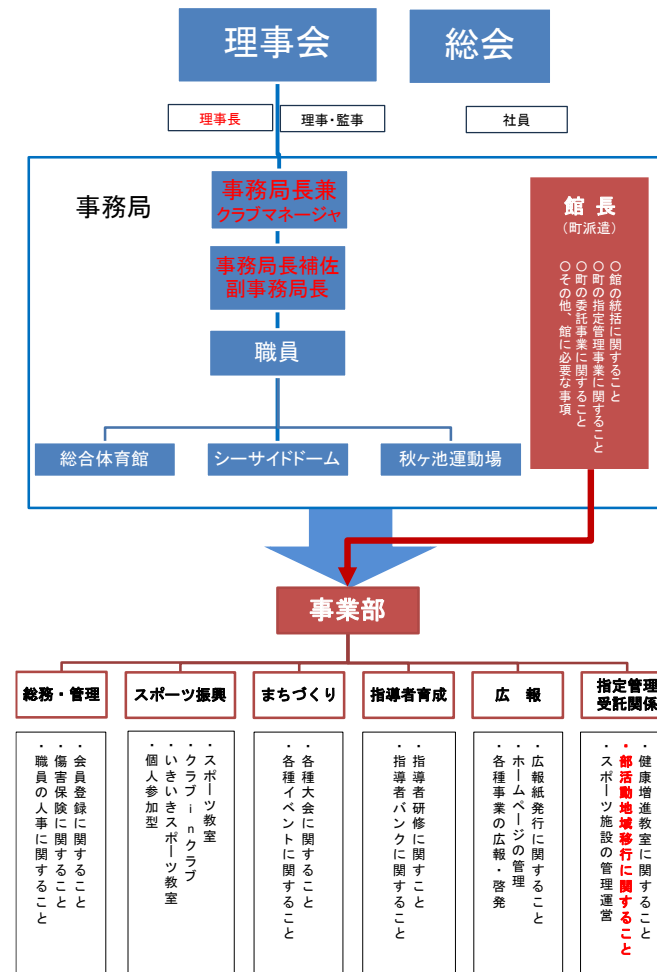
- ・会計責任者(謝金・旅費等支払い)
- ・その他、事務全般

#### ○相談窓口(地域移行コーディネーター：1名)

《役割分担》

- ・部活動の地域移行(地域展開)に係る地域、保護者からの相談対応
- ・播磨町文化協会等とのコーディネート業務

令和6年度 スポーツクラブ21はりま組織図



# 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

##### 「コーディネーターの取組」

○部活動の地域展開への理解や地域指導者への参画に向けて、各中学校区に2名(スポーツ・文化芸術担当)を配置

##### 「クラブ運営及び中間支援体制の構築の取組」

○地域人材や民間事業者に対する設立・クラブ運営への助言等

##### 「地域クラブ活動の運営の効率化の取組」

○R7年度当初運用に向けて、地域指導者の労務管理や活動報告、謝金計算、生徒等への連絡ツール等の開発、導入

#### 取組の成果

##### 「コーディネーターの取組」

○部活動顧問とのヒアリングを重ねることで、地域展開への理解促進が図られ、R4年度(53%)と比較しR6年度(89%)は36ポイントの肯定的意見が増加し教職員の意識が変容した。

○地域指導者への参画に向け、人材発掘や兼職兼業制度の活用を通して、R5年度10の既存部活動がR6年度末には23の地域連携型部活動になり、休日の活動が地域移行され地域クラブ活動が展開されている。

##### 「クラブ運営及び中間支援体制の構築の取組」

○地域人材や民間事業者に対する設立・クラブ運営への事業説明や協力依頼等を通じた結果、部活動になかった体操、水泳、e-スポーツのクラブが誕生し、計16クラブ(うちスポーツ7クラブ)となり、生徒の選択肢の幅が広がった。

##### 「地域クラブ活動の運営の効率化の取組」

○R7年度当初運用に向けて、運営団体の業務の効率化や個人情報保護の観点から、地域指導者の労務管理や指導者、保護者、生徒への連絡ツール等の開発し、R7年度当初から導入開始することになっている。

#### コーディネーターの具体的な動きの実績

- 部活動地域展開の理解促進の取組
  - ・部活動の地域展開促進を図るため、連日、学校訪問し顧問とのヒアリングを実施
- 地域指導者の参画への取組
  - ・種目協会や体育館利用サークルの代表等への説明会の開催や本事業への参画依頼

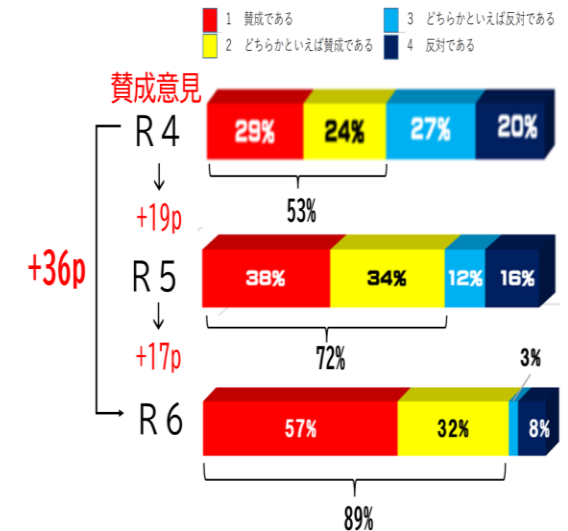
#### 今後の課題と対応方針

- 「今後の課題」
  - 運営団体である総合型スポーツクラブであるNPO法人の再整備による機能充実
- 「対応方針」
  - 持続可能な運営を図るため、社団法人や財団法人等への転換を図るためにR7年度に運営に係るあり方検討委員会を設立し協議予定

### 教職員の意識変容

「R4.5.6年度 教職員アンケート結果より」

「地域移行が可能な部活動から段階的に進める」



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

## イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

###### 「質の保障」

○日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組

###### 「量の確保」

○連携協定締結大学の人材活用  
○コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集

##### 人材バンクの人数

99名(全体123名)

##### 人材バンクの年齢構成

10代	1名
20代	28名
30代	25名
40代	16名
50代	12名
60代以上	17名

##### 登録者属性

○兼職兼業指導者  
: 49人  
・町内教職員 : 44人  
・町内公務員 : 3人  
・町外教職員 : 1人  
・町外公務員 : 1人  
  
○地域指導者 : 53人  
・民間事業者 : 9人  
・協会等 : 44人

##### 種目

○軟式野球  
○卓球  
○サッカー  
○男子テニス  
○女子テニス  
○陸上競技(R7完全地域移行)  
○男子バレー(R7完全移行予定)  
○女子バレー  
○男子バスケット  
(R7完全移行予定)  
○女子バスケット  
○女子ソフトボール  
(R7完全移行予定)

##### 資格有無

「R6認定済み」  
○陸上競技(C3) 1名  
○バレーボール(C1) 1名  
○サッカー(C1) 1名  
  
「R6受講・R7認定」  
○陸上競技(C1) 4名  
○ソフトテニス(C1) 1名  
○卓球(C1) 1名  
○バレーボール(C1) 1名

##### 取組の成果

###### 「質の保障」

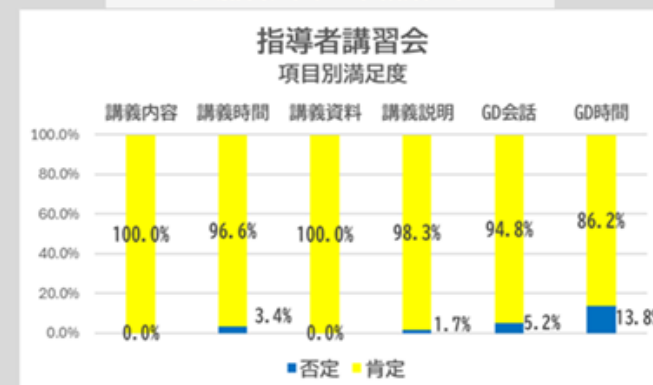
○日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組【6名】※計9名の資格保有者で運営  
・陸上競技【3名】  
・ソフトテニス【1名】  
・卓球【1名】  
・バレー【1名】

###### 「量の確保」

○連携協定締結大学の人材活用  
・ハンドボール部監督1名、選手1名が臨時コーチとして参画  
○コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集  
・各校コミスクで事業趣旨説明及び地域人材を発掘しソフトボールに参画予定

#### 指導者講習会の満足度

「参加者アンケート結果より」



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

##### 第1回

- テーマ：「部活動におけるハラスメント防止とガバナンスの確保」
- 講師：流通科学大学 准教授 与那覇 秀勲 氏

##### 第2回

- テーマ：「安全管理・応急措置について」【警報発令により中止】
- 講師：兵庫公認インストラクター

##### 第3回

- テーマ：「学校との連携について（報告・連絡・相談）」
- 講師：NPO法人アスロン 理事長 井原 一久 氏

##### 第4回

- テーマ：「チームマネジメントについて」
- 講師：流通科学大学 准教授 内田 遼介 氏

##### 第5回

- テーマ：「地域クラブの指導者の役割」、「1年間の総括」
- ・講師：流通科学大学 教授 山口 史郎 氏
- ・講師：流通科学大学 准教授 与那覇 秀勲 氏

##### 指導者研修の参加実績

- 開催日： 6月22日、 7月20日【中止】、  
9月14日、11月16日、2月8日
- 開催回数： 5回
- 参加人数： 各回平均：58人

##### 受講者の声

##### 第1回

- 組織をオープンにしていくことが大切。
- 指導者で共有する。
- コミュニケーションの重要性に気づかされた。(言葉使い)

##### 第3回

- 学校(顧問)と連携の重要性が生徒の指導に大きく関わる。
- 定期的な研修でヒヤリハットを共有することが大切だと認識した。
- リスクマネジメントについて深く考えるようになった。

##### 第4回

- 子供への声掛けに生かす事例が多く今後の指導に役立てる。
- 保護者、生徒とのコミュニケーションの重要性に改めて気づいた。
- 指導者同士で指導方針や生徒の状況等を共有することが大切。

##### 第5回

- 他の競技との指導者との交流により視野が広がった。
- この一年間で、多様な気づきがあった。
- 今後も研修に努め、個や組織としての指導力の向上に努めたい。

##### 今後の課題と対応方針

###### 《課題》

- 研修会参加者の満足度は多いものの、は毎回教師の参加が少ない。
- 地域指導者と兼職兼業教師のさらなる連携促進

###### 《対応方針》

- 学校行事を的確に把握し、早期の調整により案内をすることが必須
- コーディネーターが面接等で教師の意識改革の促進が必要
- 次年度以降は悉皆研修とし、一定の参加率出席者及び認定試験合格者に町独自の認定書を交付することを検討

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
**ウ：関係団体・分野との連携強化**  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

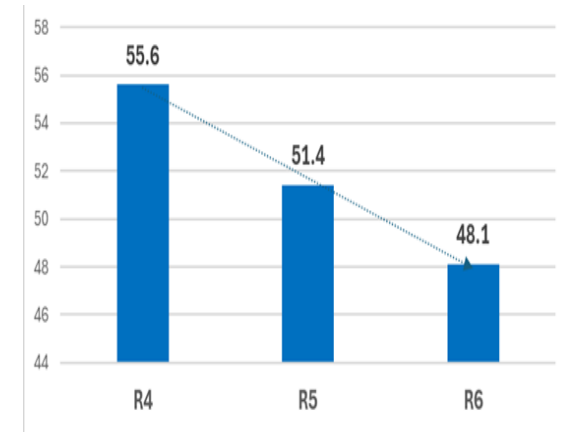
#### 取組事項

- 学校との連携促進
  - ・部活動地域展開に向け、まず、地域連携型クラブ(休日移行)の設立にむけ、本地事業の趣旨等の説明会の開催
- 教員の働き方改革の取組推進
  - ・休日の活動を地域指導者との役割分担の明確化
- 競技団体や民間団体等の連携促進
  - ・スポーツ協会加盟等の種目団体との個別説明会の開催
  - ・民間スポーツ団体への時宜用説明会の開催を通じた事業参画依頼

#### 取組の成果

- 19の運動部が18部まで地域連携型クラブ(休日)に移行完了
- 平日、休日の指導における教員と地域指導者との業務の明確化が図られ、教員の超過勤務時間の減少(R4年度比：7.5h/月)が図られつつある。
- スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに7クラブ(剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツ)を創設し、生徒のニーズに対応した活動母体の選択肢を増やせたり、小学校時代から継続して取り組めるようになったり、系統的指導体制が整備されつつある。
- スポーツ系地域指導者として99名を確保し各クラブで従事
  - ・地域指導者：46名
  - ・兼職兼業指導者：53名(教員50名、公務員3名)

中学校教員の超過勤務時間推移  
 <<月間平均時間>>



#### 今後の課題と対応方針

##### <<課題>>

- 系統的指導体制の構築
- 兼職兼業教員のさらなる意識改革

##### <<対応方針>>

- 組織で子供達を見守るため、スポーツ協会への加盟促進目指し、持続可能な体制整備
- 中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築

#### バス等の運行実績

- 町内の居住地面積(3km×2km)が狭く、その中に2中学校しかないので運航実績はなし。

#### バス等の運航経費・収入

- 町内の居住地面積(3km×2km)が狭く、その中に2中学校しかないので運航実績はなし。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
**エ：面的・広域的な取組**

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

#### 取組事項

- 生徒のニーズ(志向)に応じた多種多様なスポーツの体験を提供
- 既存部活動を完全に地域移行するとともに、新たな地域クラブの創設
- 県内大学(国立・県立・私立)や町外の関係団体、民間団体等との連携強化

#### 各自治体の役割

- 生徒のニーズに応じた多種多様なスポーツ活動体験を提供するための新たな地域クラブの創設
- 定期的な児童生徒、保護者、教職員へのアンケート調査を実施し現状把握につとめ適切に分析検証を行う。
- スポーツ活動と文化芸術活動との両方に参加できる体制整備

#### 移動手段

- 自転車
- 徒歩
- その他

#### 事務局運営の方法

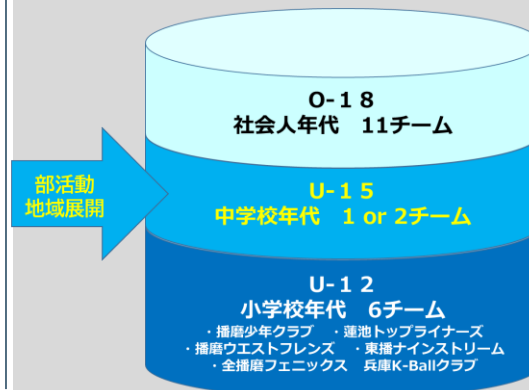
- 教育委員会にコーディネーターを1名増員し2名体制(R6)により、本事業に対する関係者のさらなる意識の変容を図る。
- 運営団体「NPO法人スポーツクラブ21(はりま)」に町職員を出向(R6)させるとともに、地域移行担当を配置することで、運営団体・実施主体の機能の充実を図る。

#### 取組の成果

○スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに7クラブ(剣道、ハンドボール、ダンス、体操、少林寺拳法、水泳、e-スポーツ)を創設し、生徒のニーズに対応した活動母体の選択肢を増やせたり、小学校時代から継続して取り組めるようになったり、系統的指導体制が整備されつつある。【再掲】

#### 既存団体連携イメージ <<軟式野球ver>>

中学生にとどまらない、ジュニア世代(小学生)を含む  
 9年間を見据えた系統的指導体制の確立



#### 今後の課題と対応方針

##### <<課題>>

- 兼職兼業教員の意識改革
- 運営団体の機能充実

##### <<対応方針>>

- 中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築
- 持続可能な運営体制構築に向けた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」での検討

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 オ：内容の充実①

#### 取組事項

連携協定締結大学の流通科学大学の協力のもと、近畿大会、全国大会を控えた選手が所属する陸上競技部員を対象に下記のとおり、スポーツメンタルトレーニングの重要性の研修会を開催した。

記

＜＜名称＞＞  
「スポーツメンタル  
トレーニングセミナー」



＜＜日時＞＞  
令和6年8月1日(木)  
10:00～12:00

＜＜場所＞＞  
播磨町中央公民館

＜＜対象＞＞  
播磨南中学校陸上競技部  
男女(33人)、顧問(3人)

＜＜取材＞＞  
NHK神戸、BANBAN-TV

#### 活動の詳細

参加人数	33人	指導者数	5人
属性	播磨南中学校陸上競技部、流通科学大学 准教授 内田 遼介 氏、同大学学生4名		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「スポーツメンタル トレーニング」の概要説明</li> <li>○心理検査</li> <li>○回答・プロフィールの作成</li> <li>○診断結果の開設</li> <li>○グループでの学生スタッフによるミニ講義</li> <li>○まとめ</li> </ul> <p style="text-align: right;">スポーツメンタルトレーニングセミナーの様子                  ≪播磨南中学校陸上競技部≫</p> 		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術面や体力面だけでなく、日頃から心をトレーニングすることの大切さを学べた。(中3女)</li> <li>○これからは、平常心で試合に臨めるよう今日学んだことを思い出し頑張りたい。(中3男)</li> <li>○リラックスし、イメージトレーニングしたり、セルフトークをしたりしながら試合に臨みたい。(中2女)</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本番で普段どおりの実力を発揮させるコツを学び、今後の生徒の指導に役立てたい。(顧問)</li> <li>○覚醒レベルと実力発揮度の関係を学び、最適な覚醒レベルで競技場面に臨ませるには、メンタルトレーニングに取り組む必要があると理解した。(顧問)</li> </ul>		
運営経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学との連携した研修プログラムとして、位置付けているため、講師料及び旅費は無料</li> <li>○会場使用料：全額減免</li> <li>○需用費：用紙代を消耗品費から支出</li> </ul> <p style="text-align: right;">スポーツメンタルトレーニングセミナーの様子                  ≪播磨南中学校陸上競技部≫</p> 		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 オ：内容の充実②

##### 取組の成果

- スポーツから文化芸術まで、部活動にはなかったような種目・分野を新設し一体的に推進
  - ≪スポーツ≫
    - ・体操クラブ ・水泳クラブ ・eスポーツクラブ ・ダンスクラブ ・剣道
    - ・少林寺拳法クラブ ・ハンドボールクラブ
  - ≪文化芸術≫
    - ・理科クラブ ・芸術クラブ ・体操クラブ ・生け花クラブ
    - ・茶道クラブ ・Jrリーダークラブ（ボランティア） ・将棋クラブ ・書道
    - ・伝統芸能（三味線） ・獅子舞
- 複数クラブに所属可能な体制の構築（スポーツ活動と文化的活動の両方に参加できる）
  - ・陸上競技、ダンス、卓球と生け花、テニスと将棋等、約70名がスポーツ、文化芸能の複数クラブで活動
- 幅広い年代が参加でき、誰もが楽しめるレクリエーション活動等の展開
  - ・あおぞらスプラッシュ ・モルック大会 ・スポはりカーニバル
  - ・3人制バスケットボール 等
- 学校でも家庭でもない、地域の中にある居場所づくり
  - ・不登校生徒も障害の有無に関わらず活動に参加できる仕組み（居場所：e-スポーツクラブなど）

#### 多様なレクリエーション活動の展開の様子 ≪「3on3」「あおぞらスプラッシュ」「スポはりカーニバル」「モルック」≫



#### 今後の課題と対応方針

##### ≪課題≫

- パラスポーツを取り入れた教室が少ないことから、誰もが気軽に参加のイベント企画が必要
- 中学校年代だけの活動ではなく、競技種目別での多世代でのスポーツ活動に取り組める環境整備

##### ≪対応方針≫

- 障害の有無にかかわらず、多世代でスポーツ活動に参加できる環境を整備する必要がある。
- 競技種目別でのスポーツ協会への参画など組織化を図り、多世代でプレーしたりコーチングしたりする体制を整備

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

#### 取組事項

- 生活困窮世帯(住民是非課税世帯)生徒への支援
  - ・運営団体、実施主体の2段階会費制のうち、運営団体への入会金と年会費を全額助成並びに保険料の半額助成の実施
- 適正な費用負担の在り方の検討
  - ・専門家(有識者)を含めた参加費を含めた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」を発足せ、受益者負担と公的助成との適切な収支構造についての検証

#### 地域クラブに係る経費

##### ■イニシャルコストの分析

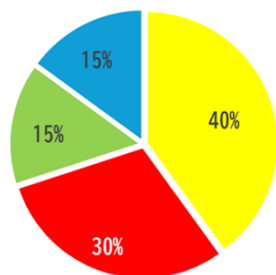
- 運営母体
  - ・既存の総合型スポーツクラブであるNPO法人格を取得した団体に業務委託していることで、初期投資はゼロである。
- 活動施設
  - ・本事業を町の子育て施策に位置付けている関係により、町施設、学校施設の優先利用はもとより施設使用料は全額減免で運用している。

##### ■ランニングコストの分析

- 主な運営維持経費項目
  - ・指導者謝金(69.3%)
  - ・備品費(8.3%)
  - ・指導者等旅費(4.5%)
  - ・需用費(4.5%)
- 今後の展望
  - ・完全移行(地域展開)時には、これまで公費で担っていた教員の特殊勤務手当(4号業務)、中体連参加費及び旅費が、運営維持経費に含まれることとなり経費は増大予定

#### 持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

めざす歳入構造

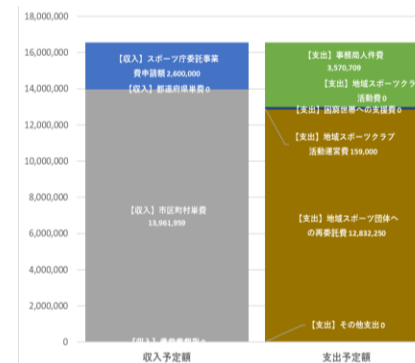


将来的に持続可能な収支を考えると、次の歳入構造を目指すこととする。

- 受益者負担 : 30%
- 公的負担 : 40%
- 企業協賛 : 15%
- ふるさと納税及びCF : 15%

#### 収支バランス

地域スポーツ活動にかかる収支構造 <<R6>>



将来的に持続可能な収支を考えると、次の歳入構造を目指すこととする。

- 受益者負担 : 30%
- 公的負担 : 40%
- 企業協賛 : 15%
- ふるさと納税及びCF : 15%

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等②

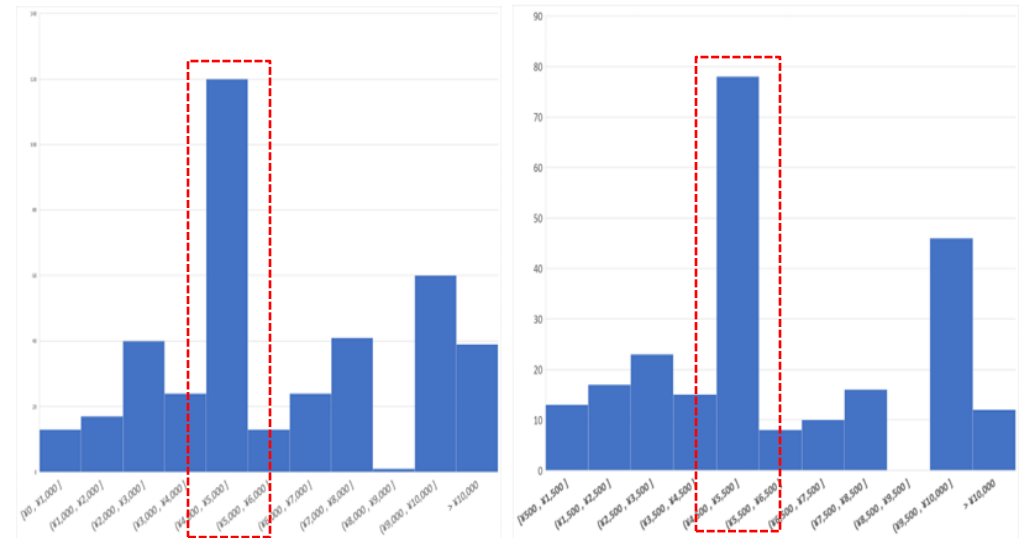
#### 取組の成果

- 生活困窮世帯(住民税非課税世帯)生徒への支援
  - ・運営団体、実施主体の2段階会費制のうち、運営団体への入会金と年会費を全額助成並びに保険料の半額助成の実施
- 企業版ふるさと納税制度を活用(R6.10実施)し、1社より10万円の寄付をいただいた。
- 適正な費用負担の在り方の検討
  - ・専門家(有識者)を含めた「地域展開在り方検討委員会(仮称)」を発足させ、受益者負担と公的助成との適切な収支構造についての検証を実施するにあたり1月から庁内準備委員会の立ち上げ、次年度計画等の方向性等を共有予定
  - ・定期的な保護者へのアンケート調査の実施により受益者負担の意識把握

### 高すぎて払えない受益者負担月額

《小学校保護者》

《中学校保護者》



# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組

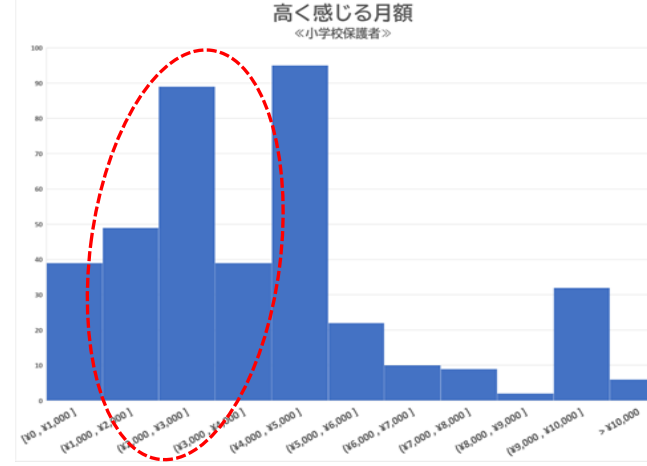
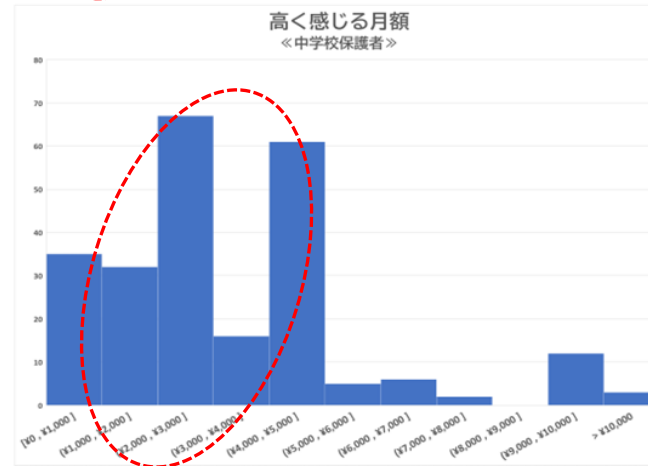
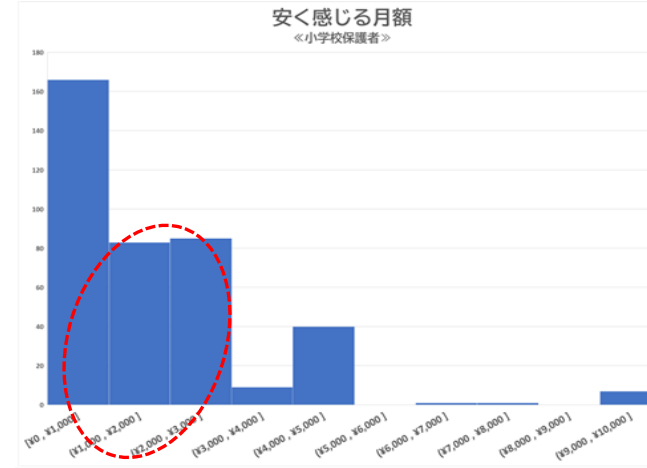
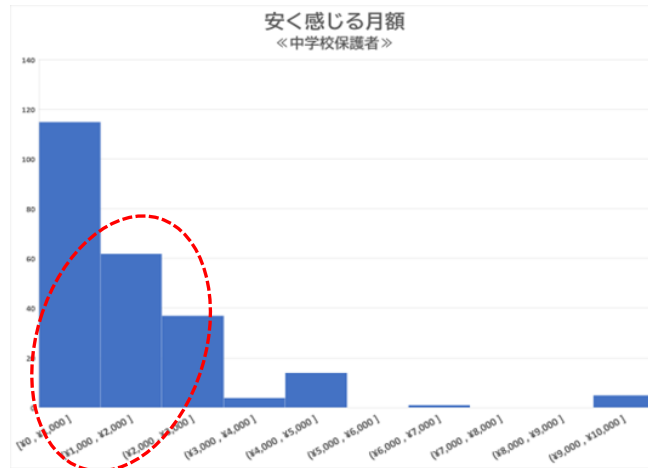


## 取組内容

### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等③

#### 資料

受益者負担額調査(月額)  
 ≪R6アンケート調査結果より≫



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

- 地域移行クラブの施設使用の優先利用及び使用料減免(全額)制度の構築し施行
- 設備、備品等の管理及び利用規程の整備
- 運営団体の町立スポーツ施設の指定管理者及び学校施設の業務管理委託契約の更新

##### 取組の成果

学校施設の効果的な活用や管理方法について、上述の取組を推進したことで次の成果(効果)があった。

- 地域スポーツクラブの活動の継続的で安定的な活動の保障の基盤が確立された。
- 地域スポーツクラブの活動の継続的で安定的な活動によるスポーツ活動のさらなる促進が図られた。
- 学校と地域クラブ備品等の区分けや利用ルールの制定し、適切な管理体制の基盤が確立された。

休日地域移行したサッカークラブ指導する地域指導者



##### 今後の課題と対応方針

###### 《課題》

- 学校施設における不審者対応
- 生徒の移動手段である自転車置き場の確保

###### 《対応方針》

- 門扉及び体育館の学校施設の開閉方法についてのスマートキー等の導入の検討に向けた設計業務の取組
- 生徒の移動方法(自転車)への対処策としての自転車置き場設計業務の取組

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



## 取組内容

### ●取組項目名 ク：その他の取組

#### 取組事項

- 改革推進期間(段階的移行期間)後の完全移行(地域展開)を見据えて、次の項目に取り組んだ。
  - 平日のすべての部活動についても地域クラブ活動に移行し、地域での活動できる体制の構築
  - 地域クラブの活動日数を平日は2日程度に削減し休日中心の活動とし、週当たり16時間を限度とした活動の実施
  - 指導者の確保の点から地域クラブの活動時間帯を夜間に変更

#### 取組の成果

- 新設クラブが、3クラブ(体操、水泳、e-スポーツ)増え7クラブに増設
- 休日移行の地域連携型クラブが、10部(R5)から19部に増加し、既存部活動が9部(R5)から1部に減少
- 活動時間を平日放課後だけでなく、夜間(19時～)に変更し活動を開始するクラブの出現
  - ・男子バレー ・男子バスケット
  - ※ 現状は、運営体制図参照

#### 指導者の属性や配置の工夫

- 指導者の属性 (スポーツ：99名、文化：24名)
  - ・地域指導者：46名
  - ・兼職兼業教員：49名
  - ・兼職兼業公務員：4名
- 配置の工夫
  - ・面接実施の上、適切に配置
  - ・平日(夕方・夜間)、休日等の希望を考慮し練習計画に基づき配置

#### 一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

本町では、中学生が持続可能で適切なクラブライフを送れる環境を整備するため、小学生からの『9年間を見据えた系統的指導体制の確立』を目指している。

そのため、子供達を地域の組織で見守ることを最必要課題として取り組んでいる。現在、その体制が整備されているのは次の実施団体である。

「新設創設クラブ」  
 ・剣道 ・少林寺拳法 ・ハンドボール ・ダンス ・体操 ・水泳 ・e-スポーツの地域展開されているクラブである。

「地域連携型」※休日移行19部  
 実施団体の組織が整備された段階で、完全(平日)移行する予定である。

### 播磨町が目指す縦・横の指導体制イメージ

#### 系統的指導体制の確立



#### 今後の課題と対応方針

- 「課題」
  - 地域指導者が参画できる時間帯と活動場所の確保
- 「対応方針」
  - 平日の放課後から夜間に変更するとともに、将来的に活動場所の確保の点から学校施設(運動場・テニスコート)の照明設備の導入を検討し活動時間、場所の確保に努める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項 (イ)

###### 「質の保障」

- 日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成に関する取組【再掲】

###### 「量の確保」

- 連携協定締結大学の人材活用
- コミスクや地域関係者を通じた情報収集や募集

##### 取組の成果 (イ)

###### 「質の保障」

- 日本スポーツ協会(JSPO)、競技団体(NF)の公認資格取得助成により6名が取得予定
- ※ 計9名の資格保有者で運営【再掲】

###### 「量の確保」

- 連携大学の人材活用
  - ・ハンドボール部監督1名、選手1名が臨時コーチとして参画
- コミスクや地域関係者を通じた人材発掘
  - ・ソフトボールに参画予定【再掲】

#### 第4回指導者講習会

テーマ：「チームマネジメントについて」

講師：流通科学大学 准教授 内田 遼介 氏



##### 取組事項 (ウ)

- 学校との連携促進【再掲】
- 教員の働き方改革の取組推進【再掲】
- 競技団体や民間団体等の連携促進【再掲】

##### 取組の成果 (ウ)

- 19の運動部が18部まで地域連携型クラブ(休日)に移行完了
- 平日、休日の指導における教員と地域指導者との業務の明確化が図られ、教員の超過勤務時間が減少(R4年度比：7.5h/月)
- スポーツ協会や民間団体の参画を得て、スポーツ系地域クラブを新たに7クラブ創設
- スポーツ系地域指導者として99名を確保
  - ・地域指導者：46名
  - ・兼職兼業指導者：53名【再掲】

#### スタート練習を見守る地域指導者 「R7から地域展開する陸上競技クラブ」



##### 今後の課題と対応方針

###### 「課題」

- 研修会参加者の満足度は多いものの、は毎回教師の参加が少ない。
- 系統的指導体制の構築
- 兼職兼業教員のさらなる意識改革【再掲】

###### 「対応方針」

- 次年度以降は悉皆研修とし、一定の参加率出席者及び認定試験合格者に町独自の認定書を交付することを検討【再掲】
- 組織で子供達を見守るため、スポーツ協会への加盟促進目指し、持続可能な体制整備【再掲】
- 中学校教員のさらなる意識変容に向け、コーディネーター中心に学校との協力体制の構築【再掲】

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

##### ≪実施事業項目≫

- 連携クラブ(休日地域クラブ)から地域クラブへの移行数及び新設クラブ数
  - ・新設クラブが**3つ誕生し7クラブ**となり、目標値の8クラブには至らなかったが、概ね達成と捉えている。
- 既存部活動数
  - ・残り**1部**となり、目標値の3部を大きく上回った。
- 生徒の満足度調査
  - ・5項目の調査結果の平均値が**88.4%の肯定的意見**があり、目標値の80%を上回った。

##### ≪重点地域項目≫

- 8分類14項目の設定数値目標のうち、次のような結果となっている。
  - ・**7分類** : **S評価**(達成率100%以上)
  - ・**1分類** : **B評価**(達成率 60%以上)
  - ・**11項目** : **S評価**(達成率100%以上)
  - ・**1項目** : **C評価**(達成率 60%未満)
- C評価の体育会系の大学生アシスタントスタッフの登用数では、目標値15人以上であったが5人にとどまり大きく下回っている。
- 今後は、連携大学をはじめ近隣及び神戸地区の大学に募集するなど、周知方法を工夫し登用数を増やしていくこととする。

※詳細は、字頁の「令和6年度達成目標及び達成状況」を参照

#### ●成果の評価

- 総括で述べたように当初掲げた数値目標は概ね達成できたが、短期目標である生徒の選択肢を増やし多様なスポーツ活動の環境づくりの「新設クラブ数」は順調に伸びている。
- しかし、既存部活動から休日移行(地域連携型)、さらには完全地域展開(地域クラブ)へと移行するには、運営団体及び実施団体の機能強化が急務である。
- この課題を解決するため、運営母体の在り方検討や指導者の資格取得助成制度の充実、競技別指導体制の充実など、新たなスポーツ環境の整備を地域総がかりで推進いかなければならないと考える。

#### ●今後に向けて

- 中学生にとって、持続可能で適切なクラブライフを送れる環境整備に向けて、小学生から9年間を見据えた系統的指導体制の確立を目指して、運営団体、スポーツ協会及び実施団体の機能強化が喫緊課題と考える。
- このためには、指導者や運営スタッフをはじめ地域クラブ活動を支える人材育成システムなどの仕組みづくりが必要と考える。
- また、本町は本事業を子育て重要施策の一つとして位置づけ推進しているが、今後将来的に持続可能な事業とするため、運営経費、受益者負担及び公的資金の適切なバランスを検証していく必要がある。

## 2.実証内容と成果②

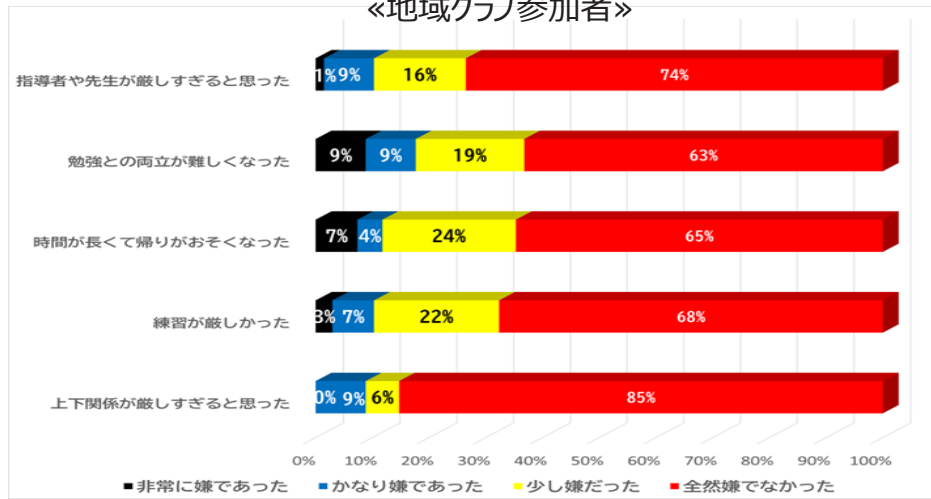
### 令和6年度達成目標及び達成状況

S…十分に達成(達成率:100%以上) A…ほぼ達成(達成率:80%以上) B…やや不十分(達成率:60%以上) C…不十分(達成率:60%未満)					
<b>(1) 実証事業項目</b>		<b>R6年度目標値</b>	<b>結果</b>	<b>達成率</b>	<b>評価</b>
○連携型クラブから地域クラブへの移行及び新設数	新設3+R5設置済4=7	8部	7部	87.5%	A
○新設クラブ及び連携型クラブへ移行後の既存運動部数	播磨中男子ソフトテニス:1	3部	1部	300.0%	S
○地域クラブ及び連携型クラブ員へのアンケート調査による満足度	5項目平均値:88.4%	80.0%以上	88.4%	110.5%	S
<b>(2) 重点地域項目</b>		<b>R6年度目標値</b>	<b>結果</b>	<b>達成率</b>	<b>評価</b>
<b>① 多様なスポーツ体験の機会の提供</b>				<b>166.0%</b>	<b>S</b>
○連携型クラブから地域クラブへの移行及び新設数(再掲)	新設3+R5設置済4=7	8部	7部	87.5%	A
○新設クラブ及び連携型クラブへ移行後の既存運動部数(再掲)	播磨中男子ソフトテニス:1	3部	1部	300.0%	S
○地域クラブ及び連携型クラブ員へのアンケート調査による満足度(再掲)	5項目平均値:88.4%	80.0%以上	88.4%	110.5%	S
<b>② 高校(県立播磨南高等学校)及び特別支援学校(県立東はりま特別支援学校)との連携促進</b>				<b>110.0%</b>	<b>S</b>
○多世代型イベントの年間開催数 5回	モルック、ダーツ、ハロウィン、卓球、餅つき、RR、3on3	5回	7回	140.0%	S
○多世代合同練習会の開催競技種目数	ハンド、剣道、少林寺、陸上	5競技等	4競技等	80.0%	A
<b>③ ジュニアからシニアまでの多世代での取組</b>				<b>110.0%</b>	<b>S</b>
○多世代型イベントの年間開催数(再掲)	モルック、ダーツ、ハロウィン、卓球、餅つき、RR、3on3	5回	7回	140.0%	S
○多世代合同練習会の開催競技種目数(再掲)	ハンド、剣道、少林寺、陸上	5競技等	4競技等	80.0%	A
<b>④ 不登校や障害のある子供たちの地域の学びの場としての役割</b>				<b>115.8%</b>	<b>S</b>
○不登校や障害のある児童生徒を対象とした地域の学びの場の確保数	各コミセン・中公・ふれあい:6、民間(e-Sports):1	7カ所	7カ所	100.0%	S
○地域の学びの場への不登校や障害のある児童生徒の参加数	コミセンサテライト:103、e-Sports:320	200人以上(概へ)	263人以上(概へ)	131.5%	S
<b>⑤ トレーナーの活用を含めた安全確保の体制構築</b>				<b>209.0%</b>	<b>S</b>
○トレーナーとの連携締結及び相談窓口設置による安全体制の構築:相談件数	トレーナー:なし、相談窓口:SC:298件	100件以上	298件以上	298.0%	S
○年間5回開催予定の指導者講習会の参加者満足度	肯定的意見:96%、否定的意見:4%	80.0%以上	96.0%以上	120.0%	S
○公認スポーツ資格取得者数(助成予定含む)	陸上3、ソフトテニス1、卓球1、バレー1	3名以上	6名以上	200.0%	S
<b>⑥ アスリート人材等の活用(体育・スポーツ系の大学生、パラアスリート等)</b>				<b>66.7%</b>	<b>B</b>
○体育会系大学生等をアシスタントスタッフとしての登用数	ソフトテニス2、バスケ1、ハンド1、剣道1	15名以上	5名以上	33.3%	C
○大学教授等による各競技別教室(クリニック)の年間開催数	流科大:生徒1回、指導者1回 トップA:生徒1回	3回以上	3回以上	100.0%	S
<b>⑦ 地域スポーツの活動の拠点整備(学校体育・教育施設の拠点化や社会体育・教育施設との一体化)</b>				<b>150.0%</b>	<b>S</b>
○学校体育施設及び町立スポーツ施設における地域スポーツクラブの優先利用等の制度確立(拠点施設数)	学校体育施設:12 公共スポーツ施設:3	10施設以上	15施設以上	150.0%	S
<b>⑧ 民間資金の活用(企業版ふるさと納税等を含む)</b>				<b>100.0%</b>	<b>S</b>
○クラウドファンディング型ふるさと納税及び企業版ふるさと納税<<部活動地域展開>>の仕組構築(納税額)	企業版ふるさと納税:1口:10万円	10万円以上	10万円以上	100.0%	S

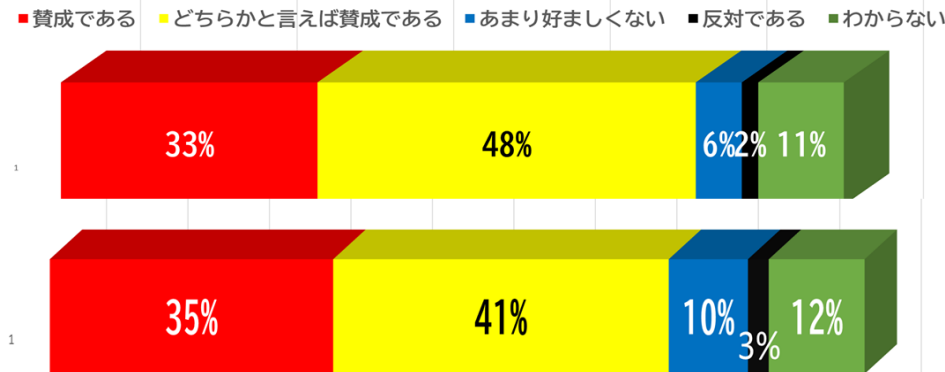
## アンケート結果・参加者の声

### ●アンケート結果

#### 地域クラブで得た経験 《地域クラブ参加者》



#### 地域移行を段階的に進める 《中学校保護者》



### ●参加者の声

#### 中学2年生

播磨中と播磨南中の連携を取って早く進めてください。その際には、不利にならないようにしてください。これからのためにもしてください。

#### 中学2年生

播磨町の体育館の使用時間を増やしてください。圧倒的に練習する時間が足りません。試合でもっと勝ち続けるためにも時間を増やしてください。

#### 中学生保護者

教員の負担低減に部活動の地域クラブ移行は、同じ労働者の目線から見て賛成です。ただし、部活動の指導にやり甲斐を感じて熱心に活動されている指導者から無理に仕事を引き剥がす事に反対です。

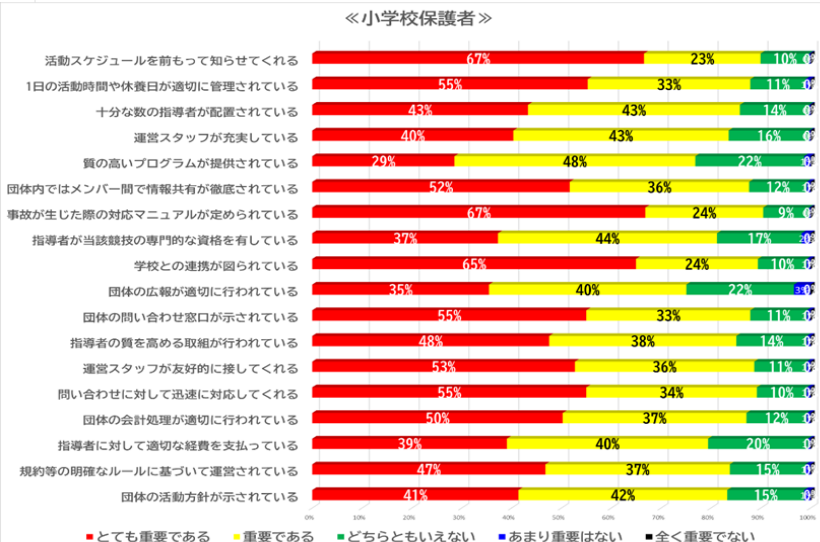
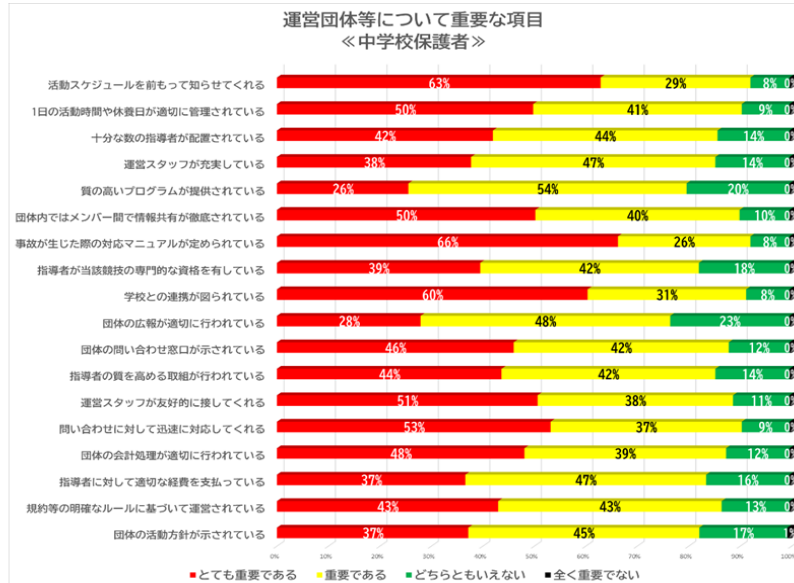
現在の指導者は非常に熱心に指導されている方が居られるので、地域クラブ指導者として、適切に指導して頂き、しっかりとした報酬を支払っていただきたい。

#### 小学生保護者

指導者を決めるにあたって、しっかり人格を判断して、モラハラやセクハラ、パワハラなどのハラスメントがないようにしてほしいです。

## 2.実証内容と成果③

### アンケート結果



#### 《R6年度アンケート調査結果より》

小中学生の保護者に適切なスポーツ・文化芸術環境の整備について、運営団体・実施団体が運営することにおいて重要視する点を尋ねたところ、左図のようになった。

暖色系の色が肯定的意見、寒色系の色を否定的な意見として区別している。

重要と考えている点を大きく分類すると、「指導業務」、「管理業務」、「ガバナンス」が挙げられる。

#### 《指導業務》

○活動時間・日数の遵守や十分な指導員の配置など、安全管理の構築が求められている。

#### 《管理業務》

○責任者を定め、問い合わせ窓口を明確に提示することが必要である。  
○年間、月次のスケジュールを事前に知らせるなど、適切に情報提供し十分なコミュニケーションを求められている。

#### 《ガバナンス》

○活動方針の提示、規約の制定やルールに基づいた運営、適切な会計処理などの説明責任が求められている。  
○特に、活動中の病気や事故の対応については、マニュアルを制定し適切に対応することが求められている。

#### 【調査概要】

- 調査主体：播磨町教育委員会
- 調査期間：令和6年12月16日～12月25日
- 調査方法：WEB調査
- 調査対象：小学生4年生以上(78.3%)、中学生全員(85.6%)  
・回収率 保護者(30.8%)、教員(66.3%)

## 広報資料

子どもたちがスポーツ・文化・芸術に  
継続して親しめる機会の確保に向けて  
子どものやりたいを叶えるために…

**播磨町の部活動は、  
地域クラブとして  
地域で活動(展開)  
します。**

**なぜ学校ではなく、  
地域なの？**

近年の少子化により、子どもも教師も少なくなり、学校単体で活動を継続していくことが難しくなってきました。この状況は、今後ますます厳しくなっていくと予測されています。

また、放課後や休日の指導、大会への引率など、教員の献身的な活動が長時間勤務の大きな要因になっています。そこで、部活動を学校単位から地域単位へ移行する国の方針に基づき、播磨町では地域でクラブを展開する環境整備を進めています。クラブ単位で大会に参加できるようにするなど、国の法整備も進んでいます。

**どのように進んでいくの？**

令和7年度末までに、部活動から地域クラブへ完全に移行することをめざしています。まずは休日から段階的に移行し、活動場所や指導者の準備ができたクラブは完全に地域クラブとして活動します。

**どんな人が指導してくれるの？**

播磨町では、NPO法人スポーツクラブ21はりまが運営主体となり、地域の指導者を確保しています。現在、多くの地域人材が賛同し、指導者として登録してくださっています。教員の中にも引き続き地域の指導者として登録されている方もいます。また、指導者資格の取得や研修会への参加を通して、指導者の質の向上にも力を入れています。

**クラブが「地域展開」になると…**

- ◆ 選択の幅が広がり、やりたいことがみつかります！
- ◆ 複数のやりたいことにチャレンジできます！ (一部複数選択不可)
- ◆ 地域の色々な年代の人と関わることができます！
- ◆ 専門的な指導により、  
個の思いやレベルに応じた活動ができます！

問い合わせ先  
播磨町教育委員会 地域学校教育課 TEL:079-435-0545

【保護者向け啓発チラシ】

部活動→地域クラブ 地域展開推進プロジェクト  
**播磨町「地域クラブ指導員」大募集！！**





これまで学校の教育として行われてきた中学校の部活動が、「地域クラブ」として地域で展開されることになります。

それに伴い、子どもとともに活動したり、指導したりする「地域クラブ指導員」を募集しています。

指導経験のある方はもちろんのこと、競技や活動の経験はあっても指導経験のない方も募集します。指導者として活動しながら、資格が取得できる支援も播磨町では行っています。

**？ どうして「地域クラブ」になるの？**

- ・先生方の献身的な活動だけでは、部活動の維持が難しくなっている。
- ・選択肢が少なく、やりたい活動が部活動にない。
- ・1つの活動ではなく、いろんな活動をしてみたい。
- ・小学生からの活動を中学生になっても続けたい。

**地域の子どもは、学校を含めた  
地域で育てる地域クラブの創設**

- ✓ 地域で多様な活動を楽しめる
- ✓ 専門性のある指導者
- ✓ 学校を越えた仲間との交流
- ✓ 多様な世代との交流

◆指導員報酬◆  
時給1,200円  
※活動日時はクラブによって異なります。詳細は面接でお伝えします。

◆採用までの流れ◆  
「登録フォーム」を読み込み、必要事項を入力してください。  
後日、こちらから連絡をさせていただき、面接を行います。 「登録フォーム」

子どもと楽しく活動してくれる方をお待ちしています！！  
ご不明な点があれば、下記までお気軽にご連絡ください。

問い合わせ先  
播磨町教育委員会 地域学校教育課 TEL:079-435-0545

【地域指導者募集チラシ】

## 広報資料

### 播磨町の中学校部活動&地域クラブ一覧

2024年9月現在



さらに詳しい情報はこちら▶

所属	部活動名	月	火	水	木	金	土	日	朝練	主な大会・発表会	揃える用具
サッカー	サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播リーグ・加印トナメント・長谷川杯・高円寺杯	ユニフォーム、スパイク など
	野球	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会・秋季大会 など	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	男子バレーボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	女子バレーボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	男子バスケボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	シューズ、スパイク、Tシャツ など
	女子バスケボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	シューズ、スパイク、Tシャツ など
	男子ソフトテニス	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	シューズ、バスケットシューズ、チームTシャツ(任意) など
	女子ソフトテニス	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	ユニフォーム、シューズ、ラケット など
	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・カデット大会・東播総大会・バタフライカップ など	ユニフォーム、ラケット など
	陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会・全国中学校総体	ユニフォーム、スパイク など
吹奏楽	吹奏楽	○	○	○	○	○	○	○	○	吹奏楽コンクール・コスモ吹奏楽祭・加印連合音楽会・アンサンブルコンテスト など	楽器のお手入れセット など
	ESS	○	○	○	○	○	○	○	○	スピーチコンテスト	なし
	美術	○	○	○	○	○	○	○	○	各コンクール・総合文化祭・県造形教育展	なし
	ソフトボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・東播総大会・東播リーグ大会・種別大会・全日本選手権 など	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	サッカー	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・東播中学校U13大会・東播リーグ・加印トナメント・長谷川杯 など	ユニフォーム、スパイク など
	野球	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会・加古川春季大会・東播総大会 など	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	男子バレーボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播大会	ユニフォーム、スパイク、グローブ など
	男子バスケボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	シューズ、Tシャツ、バスケットシューズ など
	女子バスケボール	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播オープン・フレッシュカップ・コスモカップ	シューズ、ヒール・練習着 など
	男子ソフトテニス	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・春季大会・フレッシュカップ・のびくくカップ など	ユニフォーム、シューズ、ラケット など
女子ソフトテニス	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・東播オープン・万葉杯・東播総大会	ユニフォーム、シューズ、ラケット など	
卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・新人戦・東播カデット大会・東播総大会・東播選手権大会	ユニフォーム、ラケット など	
陸上競技	○	○	○	○	○	○	○	○	部総体・東播総大会・県総体・吹奏大会・全国中学校総体	ユニフォーム、スパイク など	
吹奏楽	○	○	○	○	○	○	○	○	吹奏楽コンクール・コスモ吹奏楽祭・加印連合音楽会・アンサンブルコンテスト など	楽器のお手入れセット など	
美術	○	○	○	○	○	○	○	○	県総合文化祭・文化祭・体育大会シンボルマーク作成	なし	

※活動曜日・時間は基本的に日時です/大会・練習試合により変更の場合があります ※各都道府県別の部費や競技団体登録費などの費用が発生する場合があります

#### 地域クラブ創設型

部活動名	クラブ名/運営団体名	月	火	水	木	金	土	日	活動場所	主な大会・発表会	部費	別途費用/揃える用具
剣道	播磨剣道クラブ	※	※	※	※	※	※	※	播磨中学校武道場/総合体育館	全国選手権大会 など	¥1000/月	道着・袴・竹刀、道着袴、防具 など
少林寺拳法	播磨少林寺拳法協会	※	※	※	※	※	※	※	播磨中学校武道場/総合体育館	少林寺拳法全国大会 など	¥2000/月	道着・袴・少林寺拳法用具 など
ハンドボール	Joseph 連池	※	※	※	※	※	※	※	播磨中学校体育館	播磨大会・新人戦 など	¥2000/月	なし
ダンス(ジャズダンス)	ダンスグループ MIRARA クラブチーム	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館ホール	町内各種イベント など	¥2800/月	衣装を購入する場合
体操	ハート体操クラブ	※	※	※	※	※	※	※	播磨中学校体育館	中播大会 など	¥2500/月	なし
水泳	いっしょ水泳クラブ	※	※	※	※	※	※	※	いきいきセンター一階内プール	アタアタミニート(年1回)	¥1000/月	なし
eスポーツ	OPONAKA TRIDENTS	※	※	※	※	※	※	※	e-Sports Place 集会所	町内の大会、公式大会	¥2000/月	なし
ジョーダン	ジョーダンクラブ T・Y・A	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館/急イベント開催場所	地場イベント開催 など	¥300/月	なし
芸術	ニューウェイブ芸術部	※	※	※	※	※	※	※	ニューウェイブ児童会/中央公民館実習室	町内の主催発表会(年1回)	なし	各自必要な材料費・ワークショップ参加費
理科(Science)	放課後理科クラブ	※	※	※	※	※	※	※	(播磨中学校)/播磨中学校	サイエンスショー補助 など	なし	材料費等発生する場合有り
書道	放課後書道クラブ	※	※	※	※	※	※	※	東部コミュニティセンター	書道があれば	¥2000/月	練習用紙等に出品する場合
いっしょな	播磨いっしょな協会	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館	文化祭があれば参加したい	¥2000/月	なし(マイバスター)
茶道	播磨茶道協会	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館和室	なし	¥800/月	なし(高巾・茶せん・ふくぎ等貸出可)
将棋	播磨将棋クラブ	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館	将棋大会(期末) など	¥300/月	なし
伝統芸能	古宮舞子舞の会	※	※	※	※	※	※	※	古宮公民館/播磨小学校	古宮住吉神社秋祭り など	なし	なし
調理(三味線・太鼓)	伝承伝習文化協会	※	※	※	※	※	※	※	中央公民館/学校	伝承伝習文化祭など	¥1000/月	衣代・指ぬき(三味線・太鼓等貸出)

※活動曜日・時間は基本的に日時です/隔週で活動のクラブもあります ※新設クラブ創設型はすべて、スポーツクラブ21入会・年会費:¥2500(剣道・水泳は別途スポーツ安全保険 ¥400)が必要で

### 読者アンケート ご協力 お願いします!



「3×3 NO.5」のアンケートにご協力をお願いします。ご回答から抽選で9名(3×3名だけに1)の方に播磨町オリジナルグッズをプレゼント! また、アンケートフォームでは「3×3」住民ライター参加者も募集中です。



※当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます

▲播磨町オリジナルグッズ(例)

### 3×3 トリビア



#### 由来に諸説あり! 「うなぎ井戸跡」

住宅地にフット現れる「古宮村うなぎ井戸跡」。玉垣で囲まれた敷地内には、小さな祠と石で埋められた長方形の井戸跡が残ります。  
「うなぎ井戸」という名前の由来は、「井戸の横にある祠を前掲の頃の信仰対象とし、うなぎを持って参りに行き井戸に飲たから」と、井戸にうなぎを飼っていた「うなぎ井戸」など、諸説いろいろあります。  
江戸初期には「古宮千軒、お寺が4カ所」と言われるほど大集落だった古宮村の中央に位置する井戸は、多くの村人に使われてきたといえます。  
当時は住民の多くが農業と漁業の兼業で生計を立てていましたが、好漁場の播磨灘のおかげで漁業が専業化することになり、集落が海浜近くへ移ったため、井戸だけがこの地に残されたと考えられているそうです。

#### バックナンバーはこちら

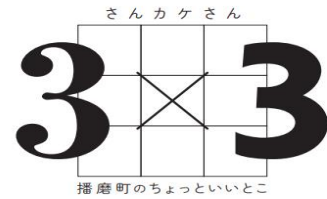


### 3×3 は、住民ライターが書いています!

好きなこと、したいことを深めながら、地域で知り合いが増えていくっていいなあ! by け (子:6歳&3歳)  
町内二つの中学校の学生が一緒に活動。校外に広がる仲間の輪についていってね。 by ま (子:6歳&3歳)  
我が子もこれから聞かせるであろうクラブのことを知ることができ、興味深かったです。 by か (子:10歳)  
3×3の掲載感をいかした新しい部活動のあり方、今後も注目していきたいです! by 福美子 (子:5歳)

3×3(さんかケさん) 播磨町のちょっといいとこ NO.05  
発行:2024年9月24日 播磨町役場  
TEL 079-435-0355(代) / 079-435-0356(企画課)  
編集:播磨町企画課・特定非営利活動法人ニューハリマ

兵庫県で一番小さなまち、播磨町。  
面積:約3km×3km(=9.13km<sup>2</sup>)  
にある、小さな「ちょっといいとこ」を  
お届けします。  
新しく住む人もこれまで住んできた人も、  
ずっと保存したくなる風景の場所・人・ことに出会ってください。



No.05

### 特集 どう変わる? 中学校の部活動



地域の大人と一緒に取り組む、新しいスタイルの全貌を紹介!  
— PICK UP 「既存部活動地域連携型」とは?  
TEL 079-435-0355(代) / 079-435-0356(企画課)  
— 3×3ライターが気になる「地域クラブ」をのぞいてきました

播磨町の中学校部活動 & 地域クラブ一覧  
3×3 トリビア — 由来に諸説あり! 「うなぎ井戸跡」

特集

どう変わる？ 中学校の部活動



スポーツや文化を生涯楽しむために。地域のみんなで活動できる環境へ

全国で中学校部活動のあり方が問われている今、播磨町でも中学校の部活動が変わり始めています。地域の大人と子どもが一緒に取り組む新しいスタイルについて、気になっている人も多はず。今回、その全貌を調査しました。

播磨町の二つの中学校では、部活動の種類や少なさや、経験のない教師が指導する状況が課題となっていました。生徒たち一人ひとりにとって質の高い部活動を続けるために考えられたのが、部活動の運営主体を学校から地域に移行する仕組みです。

現在はまだ過渡期。既存の部活動で地域の大人が指導を行う「既存部活動地域連携型」と、地域の大人が運営する「地域クラブ創設型」の2種類があり、部活動が地域クラブ活動へ移ったり、新たな種目・分野の地域クラブが誕生したりしています。教育委員会によると、早ければ令和8年度には、全ての部活動が地域クラブに切り替わる予定だそうです。

それが叶うのも、3×3kmという播磨町の規模感ゆえ。通う学校による体験格差をなくし、町内で自分が生きたい文化やスポーツと出会い、地域の大人と一緒に楽しく取り組む。生徒たちの将来まで見据えた設計になっています。

地域連携型 現状の紹介

町内二つの中学校にもともとあった部活動では、各種目や分野の経験者である地域の大人が「中学生と一緒に活動したい」という思いで、有償ボランティアの指導員として活動に参加します。顧問の先生と連携しながら、経験者ならではの知識をいかしたアドバイスをくれたり、一緒に練習をしたり。指導員は教育委員会の研修や講座を受け、中には指導者資格を持つ人もいます。

播磨中学校 卓球部



2021年4月から週3回指導をしている井下原哲生さん。中学・高校で卓球部に所属し、再び卓球を始めたのは48歳。長い卓球経験の中、指導は初めての経験だそう。一人ひとりに合わせた指導をしています。

播磨南中学校 サッカー部



2023年4月からゴールキーパーの指導を始めた沼田和司さん。高校からサッカーを始め、40代の頃に兵庫県代表で全国大会へ4回出場し、2004年全国優勝。播磨町のサッカー協会の一員でもあり、わかりやすく指導しています。

既存部活動 地域連携型

各中学校でこれまで活動してきた部活動に、種目や分野の経験が豊富な地域の大人が指導に来てくれます。顧問の先生とは違った視点でより専門的なアドバイスももらえるだけでなく、一緒に楽しく練習することで学べることもたくさん。

広報資料

地域クラブ創設型 現状の紹介

部活動の完全地域移行へ向け、地域の大人たちが世代を超えて一緒に活動するユニークなクラブが徐々に創設中。年齢にかかわらず参加できるので、中学卒業後も続けることができます。

3×3ライターの気になる！ 地域クラブをのぞいてきました

理科



放課後理科クラブ  
 塾講師であり実験教室なども開催している指導員が、生徒一人ひとりのやりたいことに焦点を当て活動計画を立ててくれます。指導員持参のたくさんの書籍（絵本や漫画も！）を用いてじっくりと学んだのち、実験を通して体感するので、より理解が深まること間違いなし。長期休みなどに開催される小学生向けのサイエンスショーや実験教室では、助手を任せられるかも？知識も経験も豊富な指導員との会話は面白く、理科好き・好奇心旺盛な生徒にはぴったりのクラブです。(byか)

地域クラブ 創設型

地域の大人が主体となり活動する地域クラブは、スポーツから文化、芸術まで、部活動になかったような種目・分野が続々と誕生。年齢に関係なく、地域の人が一緒に活動することを大事にします。将来的には部活動も地域クラブに移行予定。

茶道

播磨町茶道協会

「一生懸命お点前しているとなれる」。茶道の魅力をそうに話す指導員は、茶道歴65年。高校3年生のときに感じたその思いは変わることなく、長年ご自身が向き合ってきた「お茶」を伝えたいという思いで指導しています。伝統文化だからと難しくとらえず、家でも練習して大丈夫。1年後にはお点前ができるように丁寧に教えてくれます。海外ファンも多い日本のお茶。茶道を体験していると、将来役に立つ場面がきっとあります。(byま)



体操

ハート体操クラブ



中学校3年間で、バク転や転回とびができるようになることを目標に、鉄棒・跳び箱・マットをメインに練習します。秋には大会にも出場。練習は、柔軟・エアマット（空気が入ったマット）を使った基礎練習や技の挑戦など、個人の目標に合わせて進めます。初めて技が決まると部員同士で拍手し合う姿も。高校生のボランティア指導員も参加し、一緒に練習したり、お手本を見せてくれます。体の使い方や柔軟性を身につけることは、体操以外のスポーツにも役立つそう。自分の体をうまく使って、色々な技に挑戦してみませんか。(byけ)

eスポーツ

OPONAKA TRIDENTS

クラブでは、3種類のゲームをそれぞれのチームで練習し、オンライン大会にも出場します。他のスポーツ同様、eスポーツもチームの連携が大切な競技。練習中は、各自の画面を見ながらも、仲間と声をかけあって取り組むので、部屋には生徒たちの明るい声が響きます。クラブで大切にしているのは「競技者」としての心を伸ばすこと。日頃から、姿は見えなくても画面の向こう側に人がいることを意識しています。また、速いゲーム展開に対応するため一人ひとりが「考えを言語化する」ことも練習中だそう。自分の考えを言葉にし、仲間と共有する経験をくり返しなが、チームとしてひとつになっていくことを目指しています。(byけ)



芸術

ニュー☆ハリマ芸術部



指導員は芸大出身で、絵を描くことが大好き。教えることはもちろん、生徒と一緒に活動していくことがとにかく楽しく話します。デッサンや色彩構成など、絵画の基礎力を身につける課題に取り組むこともありますが、ゆるいタッチのイラストから立体工作まで様々なジャンルの芸術を体験しながら、描きたいもの、創りたいものをみんなで話し合い、自由度の高い制作活動に取り組んでいます。いずれはデジタルアートや動画編集、舞台芸術などにも挑戦し、生徒たちに自分の好きな芸術表現を見つめたいとほいそう。各中学校の芸術部とも連携し、年に一度は町内で展覧会も開催しています。(byか)

ダンス ダンシングチームKIRARAクラブチーム



指導員は、創設40年の歴史があるダンシングチームKIRARAの先生。地域のイベントにも多数出演しており、発表を見たことがあの方も多いかも。輝くチームメンバーの仲間入りしてみたい！と思ったことはありませんか。いつでもウェルカムですと話す指導員。ダンスが初めてでも、始めは初心者や経験者に分かれて練習を進めるのでご心配なく。全員での柔軟、アップ体操の後は、レベルに合わせて楽しくレッスンします。(byま)

Jrリーダー



指導員は小学生を対象とした居場所づくりやイベント開催など、長年にわたる播磨町で精力的に活動してきた方々。たくさんの人そんな指導員たちや地域の大人たちと共に「楽しみながら」「やりがいを感得じゅい」、お互いに「ありがとう=A」と言えるような体験の場を目指しています。

ボランティアクラブT・Y・A

地域のイベントでスタッフとして活動するだけでなく、部員が企画したイベントを開催することも。たくさんの人と関わることで、いろいろな価値観に触れることができます。コミュニケーション力を磨きながら、地域とつながっていることでしょうか。(byか)

もっと知りたい人は→

参考資料（活動写真）

### 民間施設との連携 《e-スポーツクラブの活動の様子》

- ・活動場所は地域の民間施設
- ・指導者は施設の経営者



- ・自分を発揮できる居場所
- ・インクルーシブな活動の実現

【毎週木曜夕方に約20名ほどの不登校生徒や不登校傾向生徒、特製のある子供たちがオフラインで活動】

### 参考資料（活動写真）

#### 連携大学の監督・学生と一緒に練習するハンドボールクラブ 《流通科学大学体育館》



【大学連携の取組例】

#### ハンドボールクラブ 《小学校時代に県大会優勝、全国大会出場の実績のある地域クラブ》



・指導者は小学校の教員と地域人材・教員の兼職兼業制度の活用



【創設型地域クラブ】

### 参考資料（活動写真）

地域指導者に指導を受ける生徒達



【女子バスケットボール】

地域指導者に指導を受ける生徒達



【剣道】

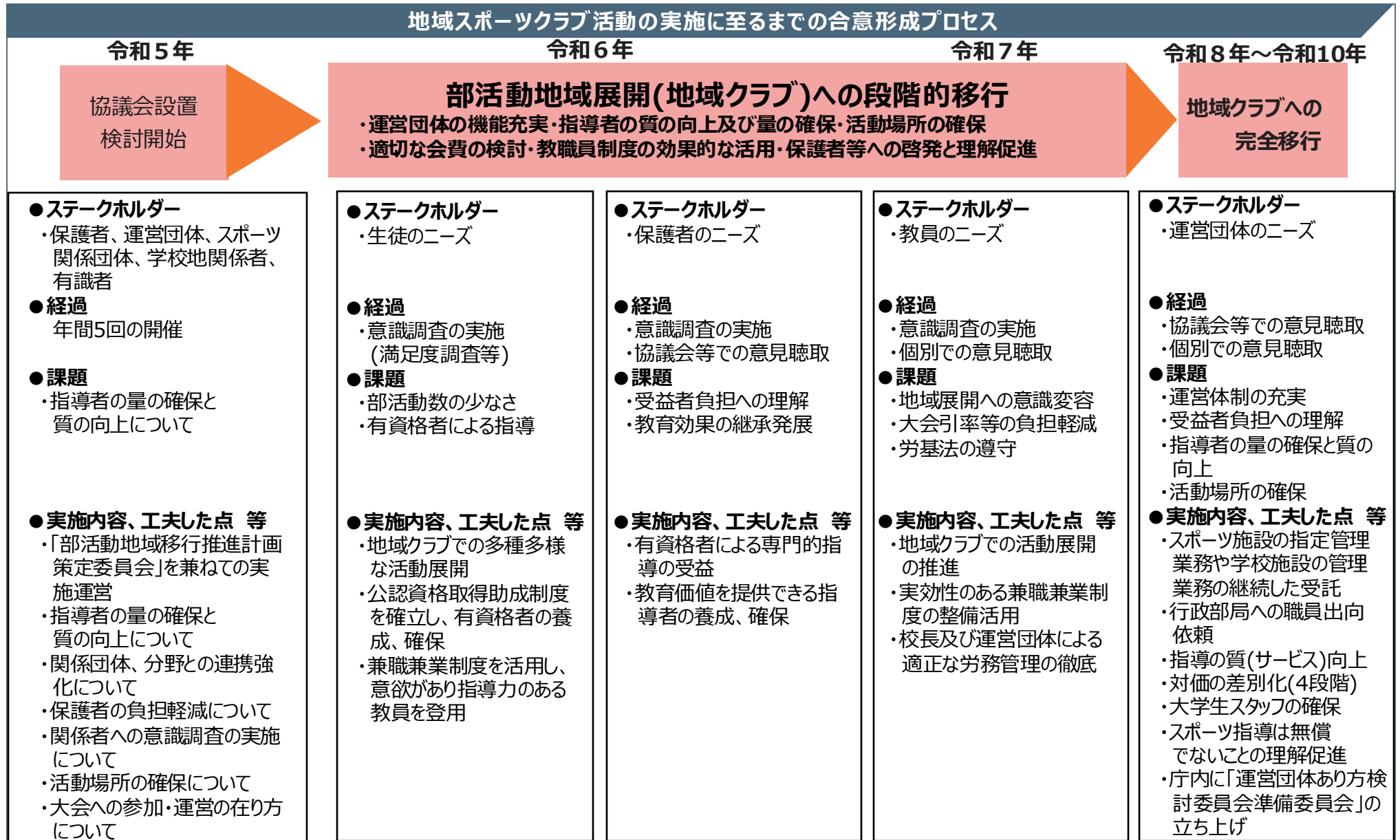


【女子ソフトテニス】



【女子ソフトテニス】

# 2.実証内容と成果



# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

### 中学校部活動の段階的地域移行(地域展開)に係る業務イメージ

		～令和4年度 ～黎明期 《学校・地域混在期》	令和5～7年度 展開期 《学校・地域クラブ混在期》	令和8～10年度 完全移行(地域展開)期 《スポーツ部・文化部とも完全移行》
		<p>【国】地域運動部活動推進モデル事業</p>	<p>【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 (部活動の地域移行に向けた実証事業)</p>	<p>国県のモデル事業(実証事業)を受託し業務を推進</p>
中学校	状態	<p>◆R4.4現状 【播磨中】運動部12クラブ(66.5%)、文化部3クラブ(18.4%) 【播磨南中】運動部9クラブ(62.7%)、文化部2クラブ(21.9%)</p>	<p>◆休日練習、大会参加・引率等 ・移行可能なクラブから順次(別添資料参照) 【播磨中】13/14部が休日地域クラブ化完了 【播磨南中】11/11部が休日地域クラブ化完了 【SC21】16クラブが地域展開(完全移行) スポーツ：7クラブ、文化芸術クラブ：9クラブ</p>	<p>◆完全移行(地域展開) ・既存部活動及び地域クラブ連携型(休日地域移行)の全ての部を、地域スポーツ・文化芸術活動へ移行(地域展開)</p>
	位置付け	<p>◆学校教育活動の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動</p>	<p>◆学校教育活動の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動 ◆社会教育活動の一環として、地域クラブ活動(スポーツ・文化・芸術)</p>	<p>◆学校教育活動の一環として、学習指導要領に位置付けられた活動 ◆社会教育活動の一環として、地域クラブ活動(スポーツ・文化・芸術)</p>
	働き方 大会 休日 早朝	<p>◆勤務時間外に休日練習指導、大会引率指導、早朝練習指導を実施 ◆教師の献身的な勤務で成立</p>	<p>◆16のクラブ：休日平日の活動を地域に移行(地域展開) ◆24の部：休日の活動を地域に移行(地域展開) ・教員は、兼職兼業の許可を得て有償ボランティアでの指導</p>	<p>◆すべてのクラブ活動が、地域に移行(休日、平日) ・希望する一部の教員は、有償ボランティアでの指導(その際は、兼職兼業の許可を得て従事)</p>
	大会参加	<p>◆学校教育活動の発表の場として学校単位での参加 ◆教員または部活動外部指導者による引率</p>	<p>◆合同チーム(男バレー)は、大会規定(R5.1.30)に準じ参加 ◆大会規定(R5.1.30)見直しにより、地域指導者の引率も可能</p>	<p>◆大会規定(R5.1.30)の見直しにより、地域クラブ活動として参加 ◆地域指導者による引率</p>
	兼職兼業	<p>—</p>	<p>◆休日練習、大会参加・引率等を希望する教員 ・兼職兼業の許可申請が必要(前掲) ・許可条件として、学校における他の時間外労働と休日練習、大会参加・引率等の業務時間の合計が複数月平均80時間以内等になること。(労基法第36条第6項) ☞ 有償ボランティアとしての参加だが適用</p>	<p>◆地域でのスポーツ活動・文化芸術活動を希望する教員 ・兼職兼業の許可申請が必要 ・許可条件として、学校における他の時間外労働と休日練習、大会参加・引率等の業務時間の合計が複数月平均80時間以内等になること。(労基法第36条第6項) ☞ 有償ボランティアとしての参加だが適用</p>

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

		～令和4年度 ～黎明期 《学校・地域混在期》	令和5～7年度 展開期 《学校・地域クラブ混在期》	令和8～10年度 完全移行(地域展開)期 《スポーツ部・文化部とも完全移行》
		【国】地域運動部活動推進モデル事業	【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 (部活動の地域移行に向けた実証事業)	国県のモデル事業(実証事業)を受託し業務を推進
運営団体(SC21はりま)の体制整備	組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆管理部：総会・理事会・監事等</li> <li>◆事業部：クラブ事業・指定管理事業</li> <li>◆職員：理事長1、副理事長2、理事9、監事2、事務局職員5(事務局長1、会計総務1、リーダー1・職員2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業部：クラブ事業内に部会を新設                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域クラブ活動推進部」と「指導者研修部」</li> </ul> </li> <li>◆職員：業務増加に伴い職員を配置(館長&amp;Co)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域部活動コーディネーター2名」(国庫%)※中学校長OBを配置</li> </ul> </li> <li>◆地域クラブアドバイザー招聘事業(町・委託料)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ運営の質的向上を図るため、年間5回実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業部：現状に応じて変更の可能性あり</li> <li>◆職員：現状に応じて変更の可能性あり                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域部活動コーディネーター」(町費に移行予定)</li> <li>・事務職員(町費)</li> </ul> </li> <li>◆地域クラブアドバイザー招聘事業(町・委託料)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラブ運営の質的向上を図るため、年間5回実施</li> </ul> </li> </ul>
	会費	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入会金：全員1,000円</li> <li>◆会費：大人2,000円、子供1,500円(保険料込み)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入会金：全員1,000円</li> <li>◆会費：子供1,500円</li> <li>◆保険料：SC21会費に含まれる保険にて対応</li> <li>※部活動地域連携型クラブの場合は、この限りではない</li> <li>※学校加入のスポーツ振興センター補償内容と同等</li> <li>※生活困窮世帯の中学生は、保険料・会費・入会金の全額減免</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆入会金：全員1,000円 ※変更の可能性あり</li> <li>◆会費：子供1,500円 ※変更の可能性あり</li> <li>◆保険料：受益者負担に移行</li> </ul>
	活動施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町内施設、小・中学校施設の一元管理</li> <li>・R3導入の施設予約システムの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校教育活動以外の時間帯の体育施設や文化施設の有効活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2中学校(体育館、武道場、運動場、テニスコート、プール)</li> <li>・4小学校(体育館、運動場、プール)</li> <li>・中央公民館、コミセン等</li> </ul> </li> <li>◆小中学生(地域クラブ)のみの活動については、全額減免措置</li> <li>◆利用ルールの策定及び徹底</li> <li>・利用団体の不公平感の是正と中学生の優先利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆学校教育活動以外の時間帯の体育施設や文化施設の有効活用                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2中学校(体育館、武道場、運動場、テニスコート、プール)</li> <li>・4小学校(体育館、運動場、プール)</li> </ul> </li> <li>◆小中学生(地域クラブ)のみの活動については、全額減免措置</li> <li>◆利用ルールの徹底                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体の不公平感の是正と中学生の優先利用</li> </ul> </li> <li>◆活動場所の確保に向け、運動場ナイター照明設置の検討</li> </ul>
	指導者確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆加盟団体から部活動指導員として活動(国庫%)</li> <li>・播磨中：剣道、卓球</li> <li>・播磨南中：サッカー(SC)、ソフトテニス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指導者バンクの新設 ※120名が登録(R6.12.31)</li> <li>◆新たな指導者の発掘(町内外からの募集等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公認指導者・スポーツ推進委員・退職教員</li> <li>・現職教員(兼職兼業)・連携協定大学生等</li> <li>・企業スポーツ活動者・各種芸術団体師匠、他</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指導者バンクの充実</li> <li>◆新たな指導者の発掘(町内外からの募集等)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・公認指導者・スポーツ推進委員・退職教員</li> <li>・現職教員(兼職兼業)・連携協定大学生等</li> <li>・企業スポーツ活動者・各種芸術団体師匠、他</li> </ul> </li> </ul>
	指導者養成	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域クラブ指導者研修事業(町・委託料)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質能力の向上を図るため、年間5回の開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域指導者研修事業(町・委託料)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の資質能力の向上を図るため、年間5回の開催</li> <li>・R7からは悉皆研修に位置付け、定額日当(謝金)を支給</li> <li>・出欠に関する罰則等の規定を設定</li> </ul> </li> </ul>
	指導者謝金	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆部活動指導員へ支出(国・県)</li> <li>・実施要項、要領に基づき支出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域クラブ指導者への謝金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・町単費での対応 ※一部国庫委託料</li> <li>・資格保有者により時間単価を3段階(ABC)に差別化</li> <li>※A：2,400円、B：1,600円、C：1,200円</li> <li>※R7からは4段階へ移行</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域指導者への謝金                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体へ受益者負担(会費に上乗せ)することで対応</li> <li>・運営団体に対しては町単費(一部国庫充当)で対応</li> <li>※R7年度中に、検討</li> </ul> </li> </ul>

# 3. 今後の方向性

		地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ		
		<p>～令和4年度</p> <p>～黎明期 《学校・地域混在期》</p> <p>【国】地域運動部活動推進モデル事業</p>	<p>令和5～7年度</p> <p>展開期 《学校・地域クラブ混在期》</p> <p>【国】地域スポーツクラブ活動体制整備事業 【国】文化部活動改革 (部活動の地域移行に向けた実証事業)</p>	<p>令和8～10年度</p> <p>完全移行(地域展開)期 《スポーツ部・文化部とも完全移行》</p> <p>国県のモデル事業(実証事業)を受託し業務を推進</p>
行政	財源	<p>◆教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校運動部活動地域移行推進事業 (1,704千円)</li> </ul>	<p>◆新規・拡充事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民協働部                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域クラブ指導者研修事業(町・委託料 131千円)</li> <li>・地域クラブアドバイザー招聘事業(町・委託料 210千円)</li> </ul> </li> <li>○教育委員会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(R5: 7,606千円、R6: 24,742千円、R7: 35,093千円予定)</li> <li>・地域スポーツクラブ活動体制整備事業                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネーター設置(R6: 2名配置)</li> <li>・地域クラブ活動運営費</li> <li>・地域クラブ活動費</li> <li>・困窮世帯支援費</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>◆原則、受益者負担 ※全てを賄うことは不可能</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R7年度中に設立予定の部活動地域展開推進委員会(仮称)において、国の動向や「SCはりま」の財源等を参考に総合的に検討</li> <li>◆町の子育て支援策として環境整備等を支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・備品、消耗品、指導者謝金、旅費等の一部を助成予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>《喫緊の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○運営母体の「SCはりま」の体制整備(人事・財政・運営)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ R7に「部活動地域展開推進委員会(仮称)」を庁内に立ち上げ運営の在り方を検討予定</li> </ul> </li> <li>○スポーツ指導者の質の保障及び量の確保                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 9年間を見据えた系統的指導体制の確立 種目協会の立て直し、組織での指導体制の構築</li> </ul> </li> <li>○アンケート調査(R6.12実施分)の分析(中学生・小学生・保護者・教員) 実施済(HP: R5.2/4、R6.3公表済み)</li> <li>○「播磨町地域部活動ガイドライン」の策定(時間帯・休養日等) 策定済み(R5.3)</li> <li>○「播磨町部活動地域移行(地域展開)推進計画」 策定済み(R6.3)をR7年度中に中間検証を実施予定</li> </ul>				



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 兵庫県 市川町

自治体名：兵庫県市川町

担当課名：教育委員会こども教育課

電話番号：0790-26-0001

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	82.67km <sup>2</sup>
人口	10660 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	254 人
部活動数	7 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

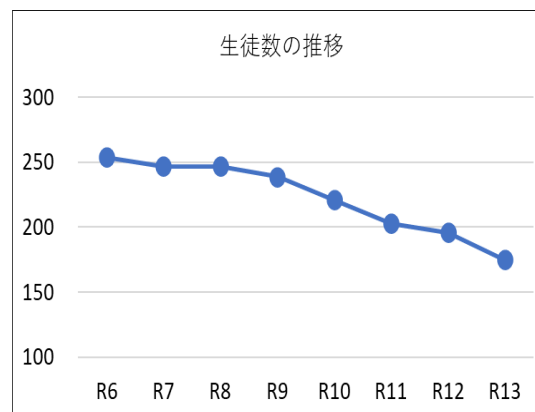
現在、当町の運動部活動は野球部、テニス部（男子）、テニス部（女子）、卓球部（男子）、卓球部（女子）、バレーボール部、バスケットボール部の7つが活動している。

現在のところ、少子化の影響による合同チームを編成しなければ試合に出場できないところまで部員が減少している部はない。

しかし、小学生の児童数の推移や出生数を見ると団体スポーツは、将来的には単独でチームを編成できない状況が訪れることは免れないと思われる。

また、当町のスポーツ関連団体においては、小学校から始めたクラブ活動を、中学校では部活動に入るので、中学校入学を機に一旦辞め、中学校卒業と同時に再開するというケースもある。

また、中学校の部活動は、中学校の先生が指導するもので、地域の方々は「私たちには中学生を指導する力量がない、指導できない」という意識が根付いており、指導者バンクを開設しても応募がない状況が続いている。そのうえ、退職年齢があがるにつれて、仕事をリタイアされた人材が少なくなっていることも事実である。



出典：市川町

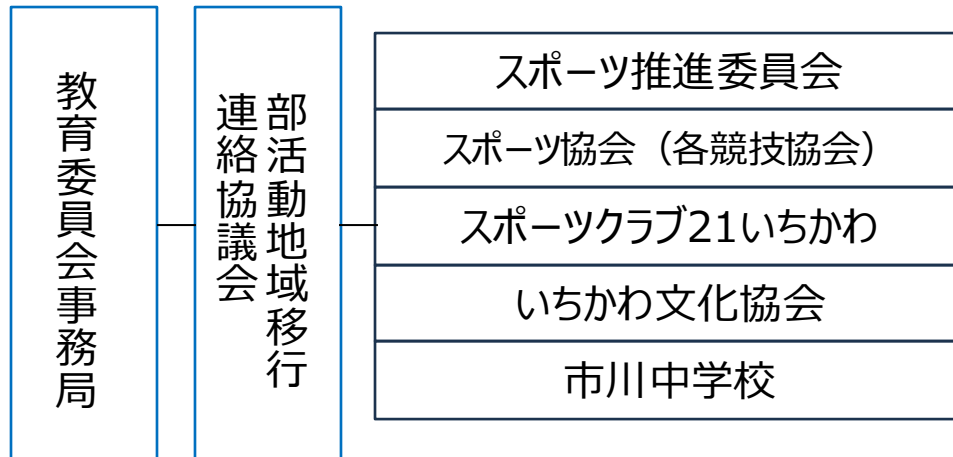
### 【課題】

現在の当町の出生数を鑑みると、今後減少傾向がますます大きくなることが想定される。

## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・こども教育課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、事務処理
- ・生涯学習課…関係団体との連絡・調整

##### ◎首長部局

- ・町全体としてのスポーツ推進施策を検討
- ・予算措置

### 年間の事業スケジュール

令和6年4月	第1回協議会の開催
令和6年5月	卓球協会との打ち合わせ
令和6年5月	中学校への説明 卓球部の地域移行 兼業兼職届
令和6年8月	中学校との打ち合わせ 9月の移行に向けて
令和6年8月	卓球協会との打ち合わせ 9月の移行に向けて
令和6年9月	卓球部の休日の地域移行開始
令和6年11月	中学校との打ち合わせ 来年度の取り組みについて
令和7年1月	中学校との打ち合わせ 来年度の取り組みについて
令和7年2月	第2回協議会の開催予定

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

#### ①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（卓球 部活）
	B：部活動にはない種目など、新規のクラブ数		0クラブ
全体の指導者数	4人	全体の運営スタッフ数	4人

#### ②各クラブに関すること

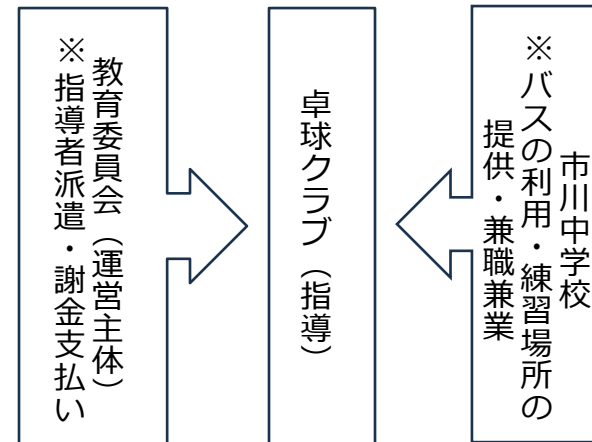
中学校名	クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数 (平日・休日)	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
市川中	卓球クラブ	卓球協会	卓球	・平日 4回 ・休日 1回	放課後 土曜（午前）	卓球協会の方々 (小学生等も含む)、 中学生	R6.8月～	4人	4人 (内、兼務0人)	なし	中体連 ：部活動

## 主な取組例

### ●卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	市川町教育委員会
期間と日数	卓球：9月1日～3月31日 週1回程度
指導者の主な属性	市川町卓球協会
活動場所	市川中学校
主な移動手段	徒歩、自転車、スクールバス
1人あたりの参加会費等（年額）	0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 1,200円/年

### ●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者  
役割：会場の管理、学校・保護者等との連絡調整や技術指導を行う
- 主任指導者 1名  
役割：参加者の管理や技術指導を行う
- 運営補助者 2名  
役割：主任指導者の補助として技術指導を行う

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

##### 取組事項

- 令和5年10月に人材バンクを設置し、指導者の確保に努める。
- 人材バンク登録の際には、スポーツ協会等の指導者講習会受講を必須要件としている。

##### 人材バンクの人数

2名

##### 人材バンクの年齢構成

10代	0名
20代	0名
30代	1名
40代	0名
50代	1名
60代以上	0名

##### 登録者属性

###### 職業

- ・教職員 1名
- ・自営業 1名

###### 人材バンクを知った理由

- ・新聞の折込広告

100%

##### 種目

- ・卓球
- ・野球

##### 資格有無

- ・教員免許
- ・公認スポーツ指導者

##### 取組の成果

- 運営スタッフと指導者を兼務した2名でスタートしたが、2名の指導者を追加することができ、多世代のプログラムを構成することができた。
- 家族ぐるみでの参加や卒業生がクラブ活動に参加するなど、地域のスポーツ振興に一定の貢献ができています。



## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

### イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

##### 指導者研修の内容

##### 指導者研修

対象：指導者

内容：

- 1 部活動の地域移行についての理解を深める
- 2 活動内容について
- 3 事務手続きについて
- 4 保険への加入について
- 5 質疑応答

##### 指導者研修の参加実績

- 開催日： 9月 7日（土）
- 開催回数： 1 回
- 参加人数： 4 人

##### 受講者の声

- 学校という活動しやすい場所を提供してもらってありがたい。
- これまで、夜の活動が多かったが、土曜日の午前中に活動できることがうれしい。
- いろいろな世代の人が参加できる活動になると思う。
- 毎週土曜日は、会場を開けることができるよう、勤務を調整してみます。

##### 今後の課題と対応方針

- 急に学校施設が使用できないことが数回あり、指導者と連絡がつかないことがあった。
- 懇切丁寧に指導していただいているので、参加者からの評判はとても良い。
- 引き続き、指導者との良好な関係を維持していきたい。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保障・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

##### 取組事項

- 指導者人材バンクの開設
- 関係団体への事業説明および協力依頼
- 教職員への聞き取り調査

##### 取組の成果

- 人材バンクへの登録について、新聞折込による町内全戸配布を行ったが、登録者は2名と効果が上がらなかった。
- 連絡協議会を通して関係団体への協力依頼を行ったが、具体的な協力を得ることができなかった。
- 教職員から、これまでの部活動において、ボランティアで指導に来てくださっている種目団体を紹介してもらい、直接依頼することにより、指導者を確保することができた。

市川町教育委員会では、市川中学校において部活動の指導に携わる「部活動指導員」を募集します。これまでの経験を生かして生徒たちと一緒に活動してみませんか？指導者を目指している学生さんも20歳以上なら大丈夫、可外にお住いの方も大歓迎。

**主な活動内容**

- ①部活動の技術指導
- ②大会への引率や審判（公式戦、練習試合）
- ③活動計画の立案（学校の顧問と連携）

※内容は種目によって異なります

**勤務A**（休日のみの勤務）  
土曜日または日曜日の1日、及び祝日の3時間以内  
年間勤務日数20日以内です。

**勤務B**（平日のみの勤務）  
平日月・火・木・金の週4日  
1日以内の2時間以内  
年間勤務日数20日以内の勤務となります。

**勤務C**（勤務A+勤務B）  
※勤務Aと勤務Bの両方に従事していただきます。

**募集する種目**

- ・軟式野球部
- ・バスケットボール部（男）
- ・バレーボール部（女）
- ・卓球部（男・女）
- ・ソフトテニス部（男・女）
- ・音楽総合部（合唱）

**期間**：採用日～翌年3月末  
**場所**：市川中学校施設等  
**任用**：非常勤の地方公務員  
**報酬**：1時間当たり1,600円（交通費は別途支給）

**お問い合わせ**  
市川町教育委員会 ども教育課  
TEL.0790-26-0001  
E-mail: kodo@town.chikawa.lg.jp  
http://www.town.chikawa.lg.jp

#### 今後の課題と対応方針

- 兼業兼職を活用して指導したいと考えている教職員の意向調査を行い、勤務に無理のない範囲で指導を依頼する。
- 部活動の移行というより、町民のスポーツ振興の一環であるという意識づけを関係団体に説明を続けていくとともに、活動支援を考えていく。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○今年度実証事業を実施した卓球クラブについては、これまでも学校部活動に協力していた実績と、卓球協会の振興方針（活動日・活動場所の確保）と一致したことから、指導者に名乗りを上げていただくことができた。

○しかし、指導者の中には、働いておられる会社の勤務時間を変更する等の多大な負担をかけてしまっていることもある。当町の現状では、片道 5 km を超える通学距離の生徒が多数おり、生徒を安全に送迎するためにはスクールバスの運用が不可欠である。そのため、活動時間を統一せざるを得ない状況にある。

○「指導者となることに興味はあるが、空いている時間と活動時間とが合わない。だから指導者として登録できない」という声も聞こえた。生徒の安全な通学と指導者の空き時間の調整という課題が残った。

#### ●成果の評価

○実証事業では、中学生を含め、「競技志向」のグループと「レクリエーション志向」のグループが自然発生的に構成され、それに応じた指導者を配置することができた。そのためか、中学生、小学生、一般の参加者すべてが満足のいく活動をすることができている。卓球クラブの休日の部活動以降については、来年度以降もスムーズに実施できる目途がついた。

○卓球クラブの活動をみていた他の教職員たちも、兼業兼職制度を活用して、小学生等を交えた活動をやってみたいとの声が上がってきている。教育委員会では、この雰囲気の後押しできる支援方法を具体化していくことで、休日の地域移行を加速度的に広げていくことができるかもしれない。

#### ●今後に向けて

○町民のスポーツ振興という視点からも、教育委員会だけでなく首長部局の地域振興担当課等と協議しながら、部活動地域移行を担当する新しい部署を設置する必要があると思う。そこにコーディネーターを配置し、指導者の発掘とクラブ活動の支援を行っていきたい。

### アンケート結果・参加者の声

#### ●参加者の声（聞き取り調査より）

##### 中学2年生

部活動のように、細かな指示がないので、思い切って卓球ができています。これからも参加していきたい。

##### 指導者

土曜日に、体育館の卓球場で卓球ができることに感謝している。これからもずっと続けていきたい。

##### 中学1年生

中学校から卓球を始めたけど、コーチが親切に教えてくれるので、ラリーが続くようになってきてうれしい。

##### 保護者

私も昔、卓球をしていた。子どもと一緒に卓球ができて、とても楽しんでいます。

### 広報資料

休日の部活動地域移行モデル事業実施に向け、保護者の理解を得るためのチラシを作成し、R6年度7月ごろに、卓球部の保護者宛に配布した。

※保護者からは、特に異議や質問等はなかった。

**令和6年度市川町「休日の部活動地域移行」モデル事業の実施について**  
市川中学校卓球部の皆さん、保護者の皆様へ

令和6年12月、スポーツ庁及び文化庁は「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を示し、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要があるとし、まずは休日における部活動の地域移行を、地域の実情に応じて可能な限り早期の実施を目指すこととされています。

そこで市川町では、市川町卓球協会の協力を得て、今年度の9月から卓球部（男女）において、休日のクラブ活動に生徒が参加する形式のモデル事業を実施します。



モデル事業 Q&A	
卓球部の活動はどうなるのですか？	平日は、卓球部として活動します。また、休日に行われる対外試合（練習試合も含めて）は卓球部として出場します。
活動内容が変わるのですか？	活動主体が卓球協会となりますので、多少の変化はあると思われますが、学校と協会と常に連携してまいりますので、活動自体に大きな変更はないと思われます。ただし、男女各団での活動となります。また、「さらに上のレベルに挑戦したい」「卓球を楽しみたい」等、自分のレベルにあった活動ができると思います。ただし「遊び」の場ではありません。
参加するための費用が必要ですか？	今回はモデル事業のため、参加に必要な活動経費は町が負担します。今後、経費を削減しながら活動を継続するクラブ活動へ変わってまいります。
活動時間はどうなるのですか？	これまでと同様、原則8時～11時を想定しています。また、スクールバスも利用できます。
活動場所はどこですか？	これまでと同様、中学校の体育館を想定しています。
怪我をしたら保険が効きますか？	スポーツ安全保険に加入します。モデル事業のため掛け金は町で負担します。
卓球部以外の人も参加するのですか？	卓球協会の方や小学生等が参加する可能性はありません。
卓球部員は参加しなればならないのですか？	部活動ではありませんので、参加するがらみは自由となります。

**市川町教育委員会 子ども教育課**  
TEL:0790-26-0001 E-mail:kasen@town.shikaga.jp

【モデル事業実施のチラシ】

出典:市川町教育委員会

## 2.実証内容と成果④

### 参考資料（活動写真）



【中学生の様子】



【指導者】



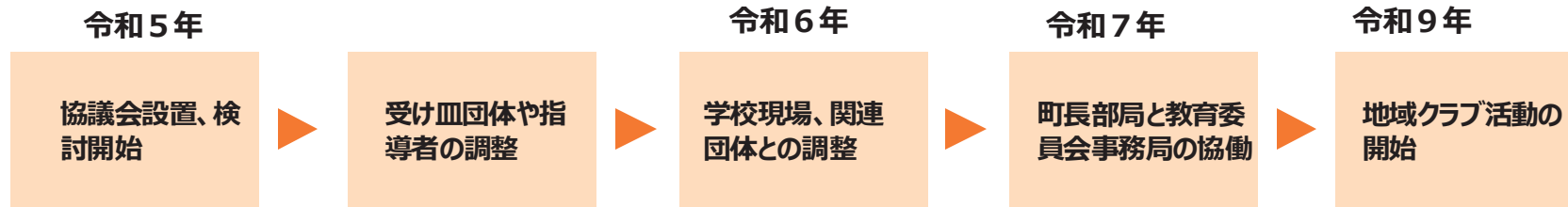
【小学生の参加】



【指導者】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

スポーツ推進委員会、スポーツ協会、スポーツクラブ21いちかわ  
町長部局、教育委員会事務局、コーディネーター

#### ●実施内容

令和5年度より部活動地域移行連絡協議会を設置し、部活動の受け皿や指導者の確保などを依頼した。

兵庫教育大学の森田教授を招聘し、部活動地域移行についての方向性を確認した。

町長部局との協働体制が必要なことから、町長と森田教授の対談会を実施した。

部活動指導員募集のチラシを全戸配布した。

土曜日の活動において、卓球部を卓球クラブとして運用開始した。

#### ●課題

主となる部局をどこにするのか。

予算をどう確保するのか。

#### ●今後の展開

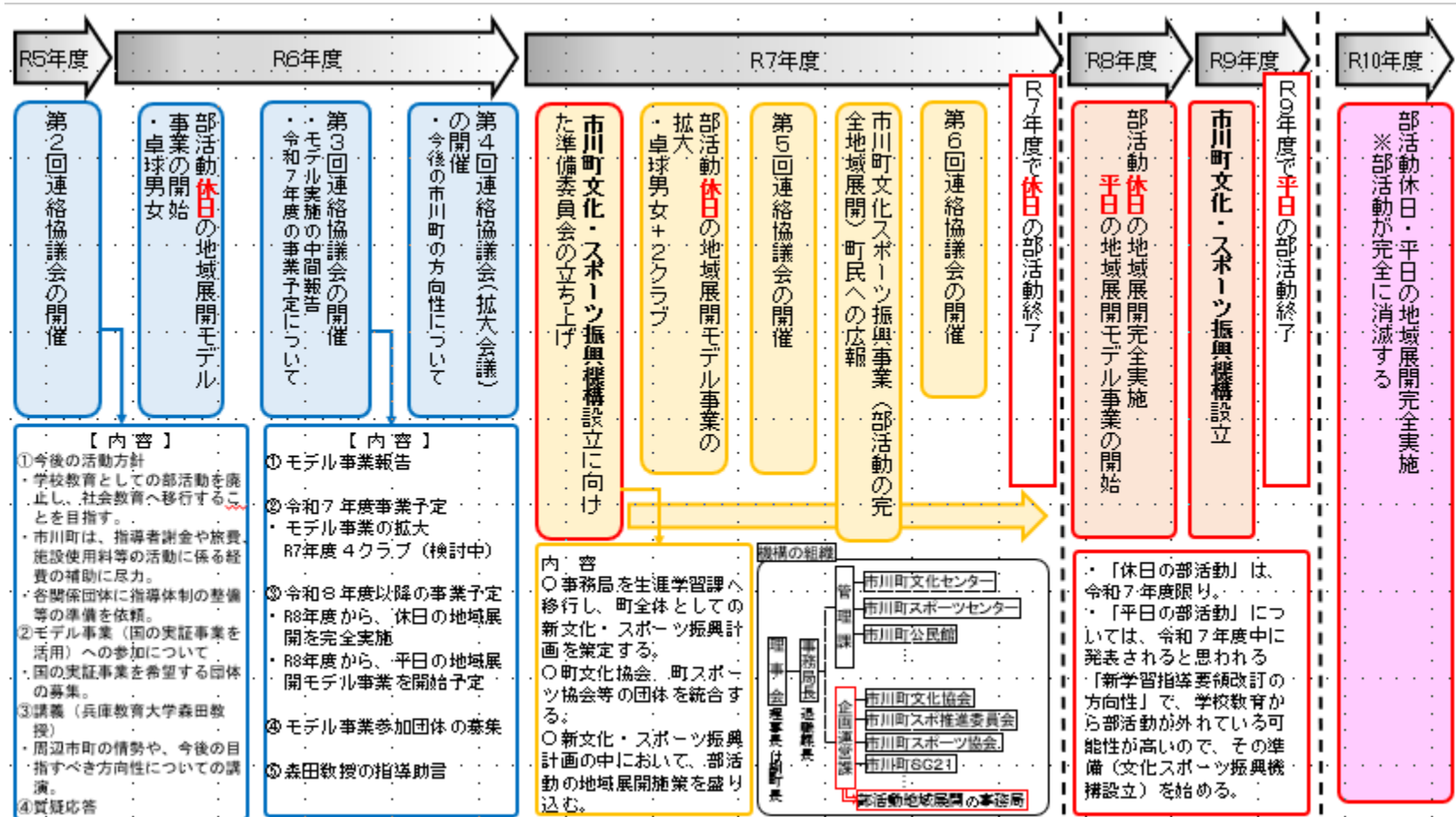
他の自治体の視察を積極的に行い情報交換をしていき、地域のニーズに合った地域移行ができるようにしていく。

引き続き、兵庫教育大の森田教授を招聘し、地域移行への助言をしていただく予定となっている。

令和9年度の地域クラブ活動の開始を目指し、実証事業を実施していきながら、準備を進めることとしている。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

## 兵庫県 太子町

自治体名：兵庫県太子町

担当課名：管理課

電話番号：079-277-1016

# 1.自治体の基本情報

## 基本情報

面積	22.61 km <sup>2</sup>
人口	33,430 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	1,015 人
部活動数	25 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定予定

## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在、当町の運動部活動は25部活動、文化部活動は、5部活動あり、合計30部活動が活動している。

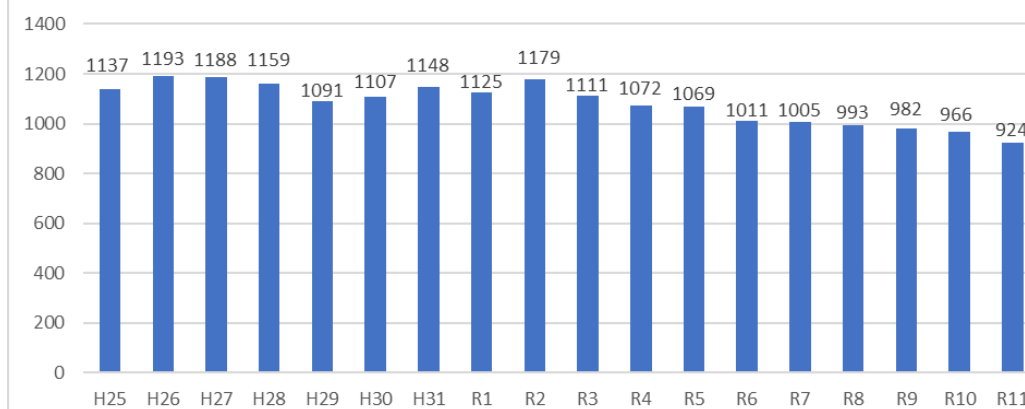
運動部活動の多くは、単独校でチームを作ることができている一方、部員数が0になった柔道部が廃部になり、女子ソフトボール部が人数が足りずに、他市との合同部活動となるなど、少しずつ少子化の影響が出てきている。

昨今の出生者数を見ると、当町では令和11年に両中学校の生徒数は、920人前後と推測され、最大であった平成26年度と比べると250人程度減少することが予想される。

そのため、今後団体競技が単独校でチームを組むことが困難になる可能性がある。また、学校の小規模化も考えられるため、教職員の人数も減り、現存の部活動をそのまま継続してすることが難しくなることが予想される。

本町では、指導者人材バンクを設置するなど、スポーツ活動の環境整備と地域指導者の人材の確保をしていく必要があるが、人材バンクへの登録者数が多くないことから広報等を使い、より多くの人に周知し、地域指導者として、携わっていただけるように努める必要がある。

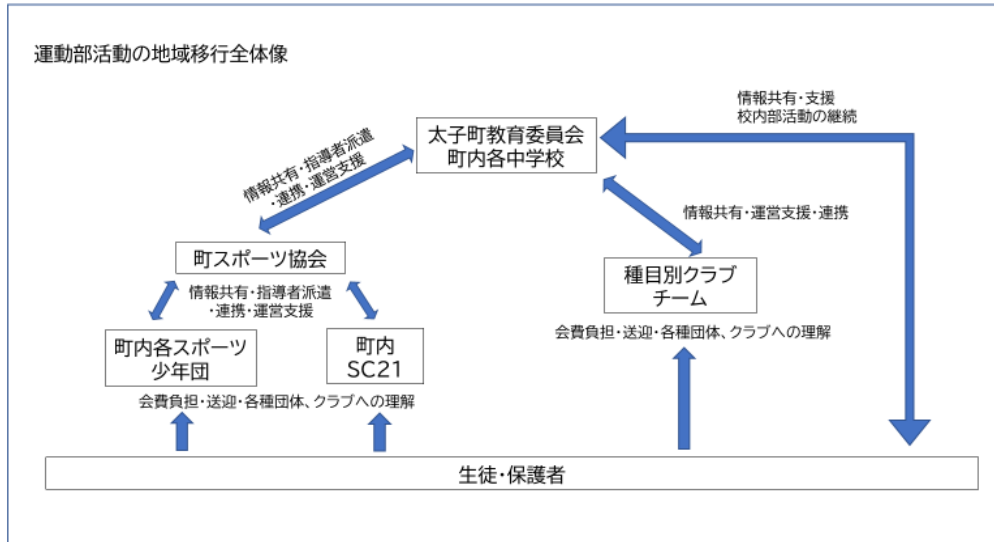
太子町における中学校生徒数の推移（R6以降は見込み）



## 2.実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ●運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ●行政組織内での役割分担

##### ◎教育委員会

- ・管理課…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、指導者人材バンクの設置
- ・社会教育課…地域スポーツ・文化活動の環境整備

##### ◎首長部局

- ・財政課…予算措置
- ・企画政策課…広報による指導者人材バンクの周知

### 年間の事業スケジュール

令和6年6月	第1回部活動地域移行検討準備委員会
令和6年8月	第2回部活動地域移行検討準備委員会
令和6年10月	指導者人材バンクの設置についての会議
令和6年11月	指導者人材バンクの設置
令和6年11月	第3回部活動地域移行検討準備委員会
令和7年1月	リズムジャンプ体験会の実施
令和7年1月	第4回部活動地域移行検討準備委員会

# 2.実証内容と成果

**ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備**  
**イ：指導者の質の保障・量の確保**  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



## 取組内容

### ●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備/イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項（ア）

- 両中学校の管理職や主幹教諭、部活動担当と教育委員会で部活動地域移行検討準備委員会を開催し、令和8年度以降の部活動の在り方について、協議を行う。
- コーディネーターの配置された先進地を視察し、本町の実情にあった推進体制や持続可能な運営体制の構築に向け、検討する。
- 指導者人材バンクを設置する際に町スポーツ協会関係者に説明会を実施。

#### 今後の課題と対応方針

- 人材バンクを設置して、対応しているが登録人数が少ないため、広報などを用いて今後も周知していく必要がある。
- 少年団やSC 2 1 等とも連携し、中学生の活動場所を増やす必要がある。

#### 取組の成果（ア）

- 両中学校の管理職と検討準備委員会を開催したことで本町の実態に合った地域移行の在り方を検討することができた。
- 先進地を視察したことで、地域指導者と中学生とが連携するにあたり、必要な準備物等の資料をいただいで確認することができた。
- 指導者人材バンクを設置するために、町スポーツ協会関係者と連携を深めることができ、今後地域移行に向け、協力体制を整えることのきっかけにできた。

#### 取組事項（イ）

- 令和6年11月に指導者人材バンクを設置し、指導者の確保に努める。
- 人材バンク登録人数
  - ・6名（1月末現在）
- 人材バンクの年齢構成
  - ・40代2名
  - ・50代2名
  - ・60代2名
- 種目
  - ・ソフトボール
  - ・バスケットボール
  - ・バドミントン
  - ・バレーボール

**太子町立中学校**  
 部活動の地域移行をふまえた  
**スポーツ・文化活動の  
 人材バンク登録者 募集！**

太子町教育委員会では、全国的に進められている「部活動の地域移行」をふまえ、中学生の部活動や部活動の地域移行後のスポーツ・文化活動の指導に関わっていただける指導者の人材バンクへの登録を募集します。

主な活動内容	勤務条件等
部活動指導員の場合 ・部活動の技術指導 ・大会への引率、審判 ・活動計画の立案等 （学校の顧問と連携） 部活動地域移行後、 地域クラブ指導者の場合 ・部活動指導員に準ずることを基本的に今後検討予定	部活動指導員の場合 ・会計年度任用職員 ・町規定の報酬 ・活動時間は平日1日2時間以内、休日1日3時間以内 （ただし、大会や練習試合等の引率等の場合は、この限りではない。） ・年間合計215時間程度（令和5年度実績） ・任用期間は任用開始日からその年度末まで 地域クラブ指導者の場合 国や県の動向により今後決定
登録要件	活動開始までの流れ
下記の(1)～(3)の全ての要件を満たす者であり、かつ、(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者であること。 (1) 該当する競技等の実技指導に精通しており、安全に指導ができること。 (2) 太子町教育委員会が適任であると判断すること。 (3) 18歳以上であること。（但し、高校生は除く。） (ア) 該当する競技等の学校での指導実績があること。 (イ) 公益財団法人日本スポーツ協会又は各中央競技団体やその関係団体等が認定する指導者資格等を取得していること。 (ウ) 該当する競技等の一定期間の経験があること。 部活動指導員の場合は、上記の要件に加え、下記の(A)～(C)の全ての要件を満たすこと。 (A) 地方公務員法第16条の欠格事項に該当しないこと。 (B) 当該校における、部活動指導方針に沿った指導を行うことができること。 (C) 部活動の教育的意義を理解し、安全管理や人権に配慮した専門的な指導ができること。	部活動指導員の場合 ① 申請書の提出 ↓ 登録申請書【様式1】を太子町教育委員会へ提出 ② 審査 ↓ 太子町教育委員会にて書類審査 ③ 登録 ↓ 責任であると認められる場合、人材バンクへ登録（各中学校に登録者の情報提供） 【指導者が必要とされる場合】 ④ 面接 ↓ 太子町教育委員会または町立中学校による面接 ⑤ 任用 ↓ 面接の結果、適任であると認められる場合に、部活動指導員として任用 ※人材バンクへ登録したとしても、必ず採用されるわけではないことをご了承ください。 地域クラブ指導者の場合 今後の国や県の動向により今後決定 実施要項や申請書については、町ホームページをご覧ください。

**【問い合わせ先】**  
 太子町教育委員会 管理課  
 〒671-1592 徳都郡太子町鶴280番地1  
 TEL: 079-277-1016 FAX: 079-277-2201 E-mail: kanri@town.hogyo-toishi.lg.jp

#### 取組の成果（イ）

太子町HP

- 人材バンクに登録のあった指導者のうち、1名はすでに指導者として中学生に指導を行っている。
- 登録のあった全ての指導者は部活動が地域移行後、地域クラブの運営にも携わる意思を示しており、人材バンクを活用し、今後も指導者確保に努める。

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
 イ：指導者の質の保障・量の確保  
 ウ：関係団体・分野との連携強化  
 エ：面的・広域的な取組

**オ：内容の充実**  
 カ：参加費用負担の支援等  
 キ：学校施設の活用等  
 ク：その他の取組



### 取組内容


#### ●取組項目名 オ：内容の充実

##### 取組事項

○当面の間、継続されるであろう学校部活動との競合を避けるため、地域クラブとして大会に参加することを目的としない、体験を主体としたレクリエーション的な活動を行うことで運動したい生徒が気軽に参加可能で多様な運動機会の確保を目的としている。

○レクリエーション的な要素を取り入れた活動であるため、競技力向上のみでなく、運動することの楽しさを感じられる機会となるように実施した。また、**スポーツ少年団の指導者でもある地域指導者に指導を受けることで地域移行の第一歩となる活動を行った。**

##### 活動の詳細

参加人数	44人	指導者数	1人
属性	地域指導者を活用したリズムジャンプ運動体験会		
具体的な内容	スポーツ少年団の代表者で、リズムジャンプのインストラクターでもある地域指導者による、体を動かすことの楽しさを伝えるリズムジャンプ運動を両中学校で実施した。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リズムに合わせたウォーミングアップはとても気持ちが高まり、前向きに取り組めた。</li> <li>● 手拍子がリズム良く、楽しく運動ができた。</li> <li>● 普段やらないような運動を行い、今後運動するときに活かしていきたい。</li> <li>● 普段使わない筋肉も使うこともあったため、良い経験となった。</li> </ul>		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校のときに、スポーツ少年団で指導をしていた生徒が中学生になって頑張っている様子が見られていい機会になった。</li> <li>● 生徒たちが楽しそうに取り組んでいる姿がとても印象的だった。</li> </ul>		
運営経費	保険料 136円/1人 講師謝金 12,500円/1回		

## 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保障・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
**ク：その他の取組**



### 取組内容

#### ●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等 / ク：その他の取組

##### 取組事項（カ）

○リズムジャンプ運動を体験会の方法で行ったため、体験会に必要な保険料は町負担とし、指導者への謝金については、実証事業の委託金で実施したため、受益者負担の費用は必要なかった。

##### 取組の成果（カ）

○今後、体験会ということで月に数回行うことになれば、指導者の謝金や保険料、リズムジャンプを行うための消耗品費などが必要になると考える。  
○今回は各中学校の体育館を使用することができたが、学校施設以外を使うことになれば、施設使用料等も必要になる。また、部活動があるときには、学校施設は使用できないため、場所の確保も必要であると思われる。

##### 取組事項（ク）

○本町は比較的コンパクトな町であり、両中学校の間に社会体育施設が存在している。そのため、拠点校方式や合同部活動について両中学校の管理職と共に部活動検討準備委員会で調整を進めている。

##### 取組の成果（ク）

○現在は、本町内で拠点校方式や合同部活動を行っていないが、一方の中学校にしかない部活動である男子バレーボール部や女子ソフトボール部に関してはどちらも部活動指導員として地域指導者が携わっているため、地域クラブへの移行を見据え、来年度拠点校方式を実施することを検討している。

##### 今後の課題と対応方針

○リズムジャンプ運動を体験会として行ったため、今年度は受益者負担の費用を発生させることなく実施することができたが、来年度以降、月に数回行うような活動にする場合、指導者謝金や保険料などの費用が発生するため、生徒や保護者の理解を得る必要がある。  
○多くの競技で部活動地域移行後の地域クラブが必要となってくるため、受け皿となる団体の募集をかける必要がある。

### 総括・成果の評価・今後に向けて

#### ●総括

○本年度はスポーツ少年団の指導者を招いて体験型の実証事業を行った。小学生のときに指導していた生徒の成長が見られたことに指導者は大変喜んでいました。

○指導者人材バンクを設置したことで、地域指導者が6名に登録することができた。実際にまず、部活動指導員として任用し、地域クラブへの移行をしていくことも検討し、今後は中学校と連携を取りながら地域クラブへの移行に向けて生徒と保護者に理解を得ること等、連携して推進していく必要がある。

○指導者人材バンクを設置する際に、町のスポーツ協会関係者と連携したことで、今後、地域クラブになった際の指導者として協力していける礎を作ることができた。

#### ●成果の評価

○部活動の地域移行に向け、指導者人材バンクを設置したことで、地域指導者を、まずは部活動指導員として任用するきっかけを作ることができた。

○地域指導者としてスポーツ少年団関係者を招いた体験会を行ったことで、関わりのあった生徒はスムーズに指導者の指導を受けることができた。

○地域クラブとしての活動を今後増やしていくために、拠点校方式や合同部活動などについて両中学校の管理職と意思統一を図ることができた。

○実際に部活動から地域移行クラブの運営に至っていないため、今後部活動から地域に移行したクラブを創設していく必要がある。

#### ●今後に向けて

○今後、協議会の設置や推進計画を策定し、関係機関、学校、町教育委員会、生徒や保護者が協力して部活動の地域移行を推進していく必要がある。

○今後も地域指導者の人材バンクへの登録や受け皿となる地域クラブの募集などをしていき、中学生の活動場所の確保が必要である。

○地域クラブと学校が連携しながら生徒がよりよい活動ができるよう、環境を整備していき、学校と地域との両方が望ましい活動となるように部活動改革を推進することが大切である。

## 2.実証内容と成果②

### 参考資料（活動写真）



【体験会（太子西中）】



【体験会（太子西中）】



【体験会（太子東中）】



【体験会（太子東中）】

## 2.実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### ●ステークホルダー

学校、町スポーツ協会、競技団体、町教委

#### ●経過

令和6年度に人材バンクを設置し、指導者の確保を進めている。令和7年には協議会の設置と推進計画を策定し、生徒や保護者への説明を行う予定としている。また、地域クラブの募集を行い、中学生の受入れが可能な団体と連携して中学生の活動場所を見つけていきたい。また、中学校の部活動にない、地域クラブを新設し、生徒のニーズに応えられるよう、対処していきたいと考えている。

#### ●実施にあたって生じた課題

今回はスポーツ少年団の指導者を招いて、リズムジャンプ運動の体験会という形で実施したが、スポーツ少年団やSC 2 1との連携が不十分であるため、今後中学生の受入れが可能であるか調査し、協力を求めている。また、多くの施設がないため、地域移行した地域クラブの活動場所の確保が大変であるため、社会教育課とも連携し、公共施設を公平に活用できるよう、環境整備を進めていく必要がある。

#### ●今後の展開

今後地域クラブとして運営していくためには、費用面や送迎などで受益者負担となる部分がある。そのため、生徒や保護者の部活動地域移行についての理解を得るために、説明をしていく必要がある。また、指導者確保や受け皿となる団体の確保が不可欠であることから今後も積極的に連携を進めていく必要がある。

# 3. 今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

(取組イメージ)

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度以降	課題と対応
方針	改革推進期間			改革実行期間			
計画期間	土日移行(展開)計画期間(令和8年度夏まで)			土日移行(展開)実行期間(土日の部活動の縮小を含む)			
部活動の方向性	部活動(部活動指導員による地域連携の拡充や地域クラブの増加)			移行可能な競技から土日は地域クラブへ(受入れ団体のない競技に関しては縮小も検討)			
地域移行(地域展開)	地域移行(地域クラブ・スポ少等)※可能であれば平日も移行						
実証事業	事業の検証・課題の抽出・修正変更等						
協議会	検討協議会の設置(教育委員会・学校・PTA・競技団体等)による検証						
取組状況	現状の把握とアンケートの実施 ・運営体制整備、組織化の検討 ・生徒の受け皿の確認 ・生徒、保護者の意識調査	人材バンクの設置と先進地視察 ・指導員の増員 ・財政支援 ・部活動の意向調査 ・生徒の受け皿確認 ・先行事例の確認	部活動と地域クラブへ移行に向けた準備 ・部活動地域移行の強化 ・校区を超えたチーム作り ・部活動と地域クラブ活動の充実化、常態化、混在化 ・生徒、保護者への周知	部活動の段階的な地域移行(まずは休日から) ・町内の部活動を地域クラブに移行(まずは休日から) ・可能な地域クラブから平日の部活動も地域へ移行 ・兼職兼業への対応 ・受入れ団体のない部活動への指導員の配置(土日の部活動の縮小も検討)			